

2 0 0 4

# 授業概要

---

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHERAUME GAKUEN COLLEGE



## 目次(心理学科)

<b>教養教育科目(1年)</b>	1
ヒューマニズム論	3
総合科目・人間	4
総合科目・生命	5
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	6
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	7
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命)	8
人物研究Ⅰ[和泉式部]	9
人物研究Ⅱ[柳田国男]	10
人物研究Ⅲ[有島武郎]	11
体の不思議	12
生物の世界と人間	13
人間と環境	14
生と死を考える	15
人間の生と性	16
生活と健康	17
教養体育(実技)	18~19
教養体育(講義)	20
外国語Ⅰ	21~25
外国語Ⅱ	26~30
海外語学研修	31
選択外国語 英会話(基礎)	32
選択外国語 ビジネス英語	33
選択外国語 時事英語	34
選択外国語 異文化コミュニケーション	35
言語とコミュニケーション	36
手話入門	37
文学芸術・フィクションと人間	38
造形美術とイメージーション	39
話し言葉の伝承	40
絵本・絵巻と物語表現	41
源氏物語の世界	42
近現代の日本文学	43
庶民の生活文化	44
現代の文化と風俗	45
現代英米の文学	46
世界の児童文学	47
比較文化論・近代文明と日本人	48
国境を越える民俗学	49
現代社会と人権	50
憲法と私たち(日本国憲法)	51
日本とアジアの近現代史	52
社会福祉の考え方	53
男と女・ジェンダーを考える	54
現代世界とマイノリティー	55
女性労働の問題	56

地域生活と家族	57
---------	----

## 専門教育科目(1年) 59

心理学概説	61
児童心理学	62
知覚心理学	63
学習心理学	64
認知心理学	65
性格心理学	66
生理心理学	67
プレゼンテーション技法	68
心理学実験演習	69
心理テスト調査演習	70
論文の読み方	71~74
心理統計Ⅰ	75~76
心理統計Ⅱ	77~78
コンピュータ演習Ⅰ	79~80
コンピュータ演習Ⅱ	81~82

## 特別選択科目(1年) 83

時事・社会特講	85
労働・健康特講	86
家庭介護総論	87
家庭介護演習	88
家庭介護実習	89

## 教養教育科目(2年) 91

海外語学研修	93
応用英語Ⅰ	94~96
応用英語Ⅱ	97~99
選択外国語 英会話(応用)	100
選択外国語 フランス語会話	101
選択外国語 ドイツ語会話	102
選択外国語 英文購読	103

## 専門教育科目(2年) 105

発達心理学Ⅱ	107
心理学研究演習	108~115
心理学研究法	116~123
総合研修	124
社会心理学	125
臨床心理学	126
精神生理学	127

心理検査法	128
カウンセリング	129
応用行動分析	130
心理療法	131
コミュニケーション論	132
非行の心理学	133
障害児心理学	134
健康心理学	135
社会調査法	136
心理学特講Ⅰ	137
心理学特講Ⅱ	138
精神医学	139
卒業研究	108~115
<b>特別選択科目(2年)</b>	<b>141</b>
家庭介護総論	143
家庭介護演習	144
家庭介護実習	145



教養教育科目（1年）





【授業科目】 ヒューマニズム論	
【開講期】 前期	【担当者】 栗田廣美
<p>【授業目標】  「ヒューマニズム」とは、「<u>人間の価値を第一と考え、人間が最高で、人間性こそ尊重すべきもの</u>とする、態度・思想傾向・世界観」のことだと、説明されている（「岩波国語辞典」）。そして、この「ヒューマニズム」——「<u>人間を愛し、人間の価値を最高度の実現しようとするヒューマニズムの精神</u>」を、<u>白梅学園短大は「建学の理念」としている</u>（『学生便覧』等）。</p> <p>しかし、<u>なぜ「人間の価値」が「第一」なのだろう。なぜ「人間性こそ尊重すべき」なのだろう。なぜ「人間を大切にすべき」なのだろう。</u>言い方を換えれば、<u>なぜ、「ヒューマニズム」は「正しい」の</u>だろう。——「<u>人間を大切にするのはアタリマエだ</u>」では、「<u>自分の思想</u>」にも「<u>学問</u>」にもならない。そういう発想は「<u>世間的通念</u>」に<u>流されているだけ</u>なのではないか。</p> <p>「<u>人間中心主義</u>」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に「<u>人間の支え</u>」になりうるのか。<u>つまり、「現代におけるヒューマニズム」は可能なのか。</u>「<u>ヒューマニズムの精神＝建学の理念</u>」も、<u>自由な立場で検証されなければならない。</u></p> <p>本講では、このような「<u>問いかけ</u>」を大切に、有島武郎等の「<u>実例</u>」にも触れながら、「<u>近代以後の人間のあり方</u>」を考えることを出発点に、<u>現在、何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切にする」のか、</u>という問題に迫っていきたいと思っている（たぶん「<u>明瞭な結論</u>」は出ないだろうが）。——大学生になった諸君が、知的に、根源的に「<u>自分自身と世界</u>」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p> <p>大切なことは「<u>知識</u>」や「<u>結論</u>」ではない。疑問を持つこと、考えること。  諸君の中に「<u>問題意識</u>」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>◆ <u>授業中の「私語・内職」はもとより「よそ見・ぼんやり」も厳禁する。</u>  これらの行為は教室の「<u>空気</u>」を乱し、「<u>ライブとしての授業</u>」に必要な「<u>ピーンと張りつめた緊張感</u>」を崩し、その結果「<u>授業のレベル</u>」を下げて、そのことで、<u>真面目に学ぼうとする学生の迷惑</u>になるからである。<u>注意に従わぬ学生は追放し、以後の受講を認めない。</u></p>	
<p>◆ 「<u>実習</u>」や、<u>病気・不慮の事態</u>以外は、<u>一度も休まずに出席することが大切。</u>  <u>病気等やむをえぬ理由</u>でも、<u>実授業数の2/3以上出席していなければ受験資格は与えない。</u></p>	
<p>◎ <u>講義を「全身全霊で聞き・感じ取り・考えようとする態度」があれば大丈夫</u>（無ければダメ）。「<u>板書</u>」は、<u>ほとんどしない。</u>「<u>黒板写し型勉強</u>」から脱却しよう。  何よりも、話をよく聞いて、その場で「<u>感じ</u>」、その場で「<u>考え</u>」、その場で「<u>理解できるだけ理解してしまう</u>」ことが大切。——<u>ノートを取るべきポイント等は、授業中に指摘するから、安心して大丈夫。</u>内容的には、<u>予備知識が無くても、最低限必要なことは「分かる」はずだ。</u></p> <p>おおむね、以下の順序で講義する予定（諸君の問題意識や理解度によって途中変更あり）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「<u>根源的（ラディカル）に考える</u>」態度について <ol style="list-style-type: none"> <li>①「<u>根源的に問う</u>」こと                    ②「<u>自己</u>」と「<u>世界</u>」</li> <li>③何が「<u>人間</u>」を価値づけるか——「<u>神のある世界</u>」と「<u>神の無い世界</u>」（有島武郎等）</li> </ol> </li> <li>2 我々の状況——近代における「<u>人間</u>」の問題 <ol style="list-style-type: none"> <li>①近代と前近代——「<u>人間</u>」の問題として                    ②「<u>神・超越性</u>」と近代人（有島武郎等）</li> <li>③近代的「<u>人間</u>」観と、その問題点                    ④「<u>近代ヒューマニズム思想</u>」について</li> <li>⑤何に抗って「<u>人間を大切に</u>」するのか</li> </ol> </li> <li>3 現代の状況と人間                    ①「<u>国家</u>」と人間                    ②「<u>資本</u>」と人間</li> </ol>	
<p>【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、<u>記述式テスト</u>を行う。  それと、<u>出席点を加味して評価する。</u>ノートをしっかり取っていることが大切だ。</p>	

【授業科目】 総合科目・人間	「言語活動と人間」
【開講期】 前期	【担当者】 東・中島・佐々
<b>【授業目標】</b> 東：人間とことば。 中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。 佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。	
<b>【テキスト】</b> 東・中島：プリントを使用 佐々：使用しない。適宜プリントを配布する	
<b>【参考書】</b> 東・中島：授業中に紹介する 佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者の QOL 援助』ほか	
授 業 計 画	
東→中島→佐々 の順で授業する。  東：次の順で講義する。 (1) 人類の起源と言葉の創造 (2) ことばの役割 (3) ことばの功罪 (4) 「場」の民主性と言語表現 中島：次の順で講義する。 (1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱 (2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ） (3) 沈黙と歴史：『ピラヴド』（アメリカ黒人奴隷制） (4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』） 佐々：計画 (1) ことばの正体を探る (2) 見えないことばを読む (3) ことばを育てる筋道を考える (4) ことばを育むプログラムの検討	
<b>【評価方法】</b> 東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。 中島：出席点とレポート 佐々：平常点の重視、レポートによる評価	

【授業科目】総合科目・生命	
【開講期】後期	【担当者】明渡陽子・近藤正樹・柳下登
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。</p> <p>20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登：プリントを使用  近藤正樹  明渡陽子：プリントを使用</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p> <p>柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社）</p> <p>近藤正樹  明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命とはなにか：明渡陽子</li> <li>2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登</li> <li>3. 地球生物と進化：柳下登</li> <li>4. 地球生物と環境：近藤正樹</li> <li>5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹</li> <li>6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子</li> <li>7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか。（それぞれの専門分野から）  柳下登  近藤正樹  明渡陽子</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登：出席状況と筆記テスト  近藤正樹  明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ（近代国家と戦争）	
【開講期】 1年前期	【担当者】 平賀明彦
<p>【授業目標】</p> <p>近代・現代の戦争と平和の問題を通してヒューマニズムについて考える。戦争発生のメカニズムを探る中で、あらためて平和の意味を考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということとはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、それへの対応として起こされたイラクでの戦争が果たして適切であったのか。暴力の連鎖が何を生み出し、また、私たちの現在と未来に何をもたらすのかを考えてみるのが重要ながかりとなるだろう。</p> <p>現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題は、そういったこととどのような関係があるのかといった点からも検討を深める必要がある。また、戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇同時多発テロは何故起きたかー歴史的経過を探る意味</li> <li>◇報復戦争の意味するものーテロへの対応は「戦争」か</li> <li>◇近・現代の戦争、地域紛争とその原因ー民族、宗教、「文明の対立」を検討する</li> <li>◇国民国家形成とナショナリズムーフランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合</li> <li>◇近代の平和思想の歴史ー『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜</li> <li>◇不戦への挑戦、その可能性はー日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える</li> <li>◇構造的暴力の問題ー貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造</li> <li>◇平和への課題ー人権・福祉そして平和</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	
【開講期】前期	【担当者】 八田恵子
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの日常的な行為である消費を学問として、歴史的な観点から見ていく。それにより大衆消費社会における消費者としての客観的な視点を養いたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。必要に応じ資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>私たちは大衆消費社会の中に生きている。大衆消費社会とは一握りの金持ちの好みによりモノが作られ、消費されるのではなく、「豊かな社会」に生きる大衆が大きな購買力(モノを買う力)を持ち、大衆の好みによりモノが大量に生産される社会である。私たち(大衆)は日々の生活の中であれが欲しい、これが欲しいとモノを買っているが、それは果たして本当に欲しいモノなのか。</p> <p>私たちにあるモノを欲しいと思わせる消費のしくみや消費社会の成立、消費革命の進展を時代を追いながら見ていく。</p> <p>その際、手がかりとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デパートを中心とした流行の創出</li> <li>室内装飾、家具の販売による生活スタイルの商品化</li> <li>食の変化</li> <li>レジャーの広がり 等々の</li> </ul> <p>具体的事例を出来るだけ見て生きたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と学期末の試験あるいはレポートの結果で評価。試験の場合はノート、プリント等参照可。</p>	

<p>【授業科目】現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)</p>	
<p>【開講期】前期</p>	<p>【担当者】明渡陽子・柳下登</p>
<p>【授業目標】 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。</p>	
<p>【テキスト】 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用</p>	
<p>【参考書】 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のテーマに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か</li> <li>2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点)</li> <li>3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向)</li> <li>4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用</li> <li>5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影—</li> <li>6. 人間生命と科学技術のゆくえ</li> </ol>	
<p>【評価方法】 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 人物研究 I [和泉式部]	
【開講期】 後期	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。  和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。  時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 近藤みゆき 訳注『和泉式部日記』（角川文庫）  他に、プリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館  増田繁夫著 『冥き途一和泉式部伝一』世界文化社  清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社  久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 悪女の評判さまざま  すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。</li> <li>2. 実人生を辿る  少女期の環境  最初の結婚と破綻  冷泉皇子兄弟との恋愛と死別  後宮出仕  再婚  娘との死別</li> <li>3. 実体験と和歌表現</li> <li>4. 恋歌と死の歌のあわい  恋歌を超える眼差し</li> <li>5. 実存のテーマと方法  和歌の時空  「自己客体視」の方法  連作の方法</li> <li>6. 歌集と日記</li> <li>7. 仏教的心性の問題</li> <li>8. 和泉式部和歌の評価をめぐる問題</li> </ol> <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ〔柳田國男〕	
【開講期】1・2年後期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】柳田（旧姓・松岡）國男（明治8年—昭和37年）は、貧しい医師の子として、兵庫県神崎郡福崎町で生まれた。大学を卒業してのち、彼はそれまで問題にもされなかった民衆の生活と文化を調査・研究し、日本民俗学の基礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。</p>	
<p>【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。</p>	
<p>【参考書】中村哲『柳田國男の思想』（法政大学出版局刊）、谷川健一『柳田國男の民俗学』（岩波新書）、鹿野政直『近代日本の民間学』（岩波新書）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>生いたち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本—小さい家」——松岡家の一つの不幸。</li> <li>・利根川畔・布川徳満寺絵馬の衝撃。——経世済民の志</li> </ul> </li> <li>2. <u>就学と詩人松岡國男</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊良湖岬への旅と島崎藤村「椰子の実」</li> </ul> </li> <li>3. <u>民俗学の夜明け</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農政学から民俗学へ ——『後狩詞記』・『遠野物語』</li> </ul> </li> <li>4. <u>官界から言論界へ</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅と学問——大正デモクラシーと民衆文化の発掘。</li> </ul> </li> <li>5. <u>日本民俗学の確立</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『海上の道』——壮大なる仮説——日本民族の南方起源説。</li> </ul> </li> <li>6. <u>まとめ</u>——柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。</li> </ol>	
<p>【評価方法】定期試験時のペーパー・テスト（資料プリント集・ノート・参考書等参照可）</p>	



【授業科目】 人物研究Ⅲ〔有島武郎〕	
【開講期】 後期	【担当者】 栗田廣美
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。  有島武郎（ありしま・たけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見詰め、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊  栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊  栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊  ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね以下のような順序（最大限進んだ場合）を予定しているが、「予定」に縛られるのではなく、可能な限り諸君との（毎回提出の「ポイント・メモ」等を利用した）意見交換を重視しつつ臨機応変に展開し、問題意識が「盛り上がり」きたら、その部分に思い切って集中する等、途中で変更することもある（例えば昨年度は「1の②」に集中し、2～3は割愛した）。</p> <p>大切なことは「知識をまんべんなく獲得する」ことではなく、「有島武郎」という「具体的な人物」の研究を通して、「人間」を考えることであり、以下は、その「様々な切り口」なのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> <li>①「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。</li> <li>②「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信</li> <li>③「家」と「国家」——反抗と訣別</li> </ol> </li> <li>2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> <li>①「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧</li> <li>②キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成</li> <li>③中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ</li> </ol> </li> <li>3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> <li>①芸術・思想・革命・自由      ②農場解放の理想と現実      ③恋愛と死</li> </ol> </li> </ol> <p>◆ 授業中の「私語・内職・よそ見」等厳禁。  ◆ 「実習」や病気・不慮の事態以外は「一度も休まずに出席すること」が大切。  ◆ 「全身全霊で聞き、感じ取り、考えようとする態度」があれば大丈夫（無ければダメ）。  ◎ 「板書」はほとんどしない。「黒板写し型勉強」から脱却しよう。ノートすべきポイント等は授業中に指導するから大丈夫。真面目に出席して、（僕の指摘を受けつつ）ノートをしっかりと取って聞いていれば、（予備知識が全く無くても）十分、分かるはずだ。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていれば大丈夫。出席点を加味して総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 体の不思議	
【開講期】 1年後期	【担当者】 近藤正樹
<p>【授業目標】</p> <p>ヒトの体のしくみについて、構造と機能の両面から解説し、栄養・生殖・行動の法則性を要約する。全体の恒常性・協調性を演出する情報物質（ホルモンや溶解性物質）の濃度や神経（電極パルス）、個体間の交信情報のあり方（言語系交信 視覚系交信 化学物質交信など）にもふれて、「体」といわれる独立体を持つ総合性・統一性に一層関心をもってもらう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用せず</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 生命の最小単位が持っている不思議 細胞の構造と細胞内器官の構造——その役割 極限まで単純化された細胞——寄生に見られた退化のみちすじ、結晶体とまでいわれる生物「生物」の概念</p> <p>2. 体を構成している部品の構造と機能 栄養系器官の構造と機能——肥満と生長——老化 生殖系器官の構造と機能——性の分化と子孫繁栄 神経・筋の構造と機能——感覚と認知と行動</p> <p>3. 外界からのしげきとその受容 温度に対する体の反応——定温動物と変態生物 明るさに対する体の反応——前経験のわざわい、光周性と体内時計 受容器にも全体区と地方区がある だまされる受容器</p> <p>4. 異物侵入に対する防衛 異物をすてる 異物を分解する 異物を借用する 異物をとじこめる アレルギーと免疫 人体に有害な物質と濃度——人間はどこまで体をだませるか</p> <p>5. 生殖の不思議 細胞の若返り 卵の不思議・精子の不思議 性行動は本来備わっているものなのか 意志のいたずら</p> <p>6. 交信 言語 シンボルによる交信 表情 筋肉反応による交信 フェロモン 化学物質による交信</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>持込不可のペーパーテストを行なう。一章ごとにまとめておく（復習）が大切</p>	

【授業科目】 生物の世界と人間	
【開講期】 1年前期	【担当者】 近藤正樹
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p><b>【テキスト】</b> なし</p>	
<p><b>【参考書】</b> なし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 生物と無生物 気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して</p> <p>2. 生物の紀元 ①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化 ②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化</p> <p>3. 生物の種類と分類 分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因</p> <p>4. 個体維持と種族維持</p> <p>5. 集団（個体群）としての人間集団</p> <p>6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割</p> <p>7. 昆虫の社会と高等動物の社会</p> <p>8. 動物の社会と人間の社会</p> <p>9. 「考える」動物としての長所と限界</p> <p>10. 人間はこれから何を努力しなければならないか</p>	
<p><b>【評価方法】</b> レポートと定期試験</p>	

【授業科目】 人間と環境	
【開講期】 後 期	【担当者】 吉川 研二
<p>【授業目標】</p> <p>35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。</p> <p>様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントなど</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宇宙の中の地球 宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球</li> <li>2. 地球環境の変遷 原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境</li> <li>3. 地球環境系と生命 生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー 大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き</li> <li>4. 生態系の構造と機能 生態系とは 非生物的要素と生物の群集 物質の循環とエネルギーの流れ</li> <li>5. 地球環境悪化と生態系 地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響 森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊 様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン 水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染 オゾン層の破壊 紫外線と生物</li> <li>6. 生活の中の環境問題 資源 消費 廃棄 自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル</li> <li>7. ふたつのエコ 環境倫理</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点＋期末筆記試験</p>	

【授業科目】 生と死を考える	
【開講期】 前期	【担当者】 嶋根 久子
<p>【授業目標】</p> <p>人は自分の死ばかりでなく、近い人の死に直面したときにも、生きているという実感を一層強く持つといわれています。しかしながら、核家族化の進行や、寿命の飛躍的な伸び、加えて死を病院で迎えることが多くなった昨今、われわれは死を身近に体験する機会が非常に減少しています。したがって、この授業では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、さまざまな角度からしについて考えてみたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】『死ぬ瞬間』キューブラ・ロス著、読売新聞社、『生と死を考える』A・デーケン著、春秋社、『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『現代、死にふれて生きる』リフトン、有信社</p>	
授 業 計 画	
<p>1 死を年代別に見る。</p> <p>①子供の死、②青年期の死、③壮年期の死、④高齢者の死</p> <p>2 死の諸相</p> <p>①病死、②事故死、③災害に於ける死、④自死、⑤自然死</p> <p>3 家族と看護、あるいは死の看取り。</p> <p>①死の諸相による家族への影響、②子供の死、③親の死、④高齢者の死、⑤配偶者の死</p> <p>4 死者の年代別にみた、残される家族の問題。</p> <p>①配偶者の死、②子供の死、③親の死</p> <p>5 死の受容の諸形態。</p> <p>①死にゆく人、②残された家族</p> <p>以上のテーマについて、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】小さなレポートを4回、中間期（5月）と試験時期に本を読んでレポートを提出。それらを合計して評価する。</p>	

【授業科目】 人間の生と性	
【開講期】 1・2年 後期	【担当者】 関口久志
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>ジェンダー（社会的文化的性）や旧来の規範にとらわれて呪縛から逃れられない日本の性の現状を考え、80年代の市場経済万能論の台頭により消費目的化される性の問題から現代日本社会を照射することで、ジェンダーや規範を乗り越え、男女と性的マイノリティー（同性愛者、性同一性障害等）も含め自己の性的アイデンティティーを肯定的に受け止め、誰もが対等平等に、安全と安心のための行動選択ができる自己決定力を身につける性教育を探る。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>村瀬幸浩著 「ニューセクソロジーノート」 十学舎</p>	
<p><b>【参考書】</b></p> <p>関口久志他共著 「日本の男はどこに来て、どこへ行くのか」 十学舎</p> <p>関口久志他共著 「ジェンダーフリー・性教育バッシングそこが知りたい50のQ&amp;A」 大月書店</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性の疑問・悩みを出し合う。</li> <li>2. 性の多様性、生物的性（セックス）とジェンダー、性的指向。</li> <li>3. 性別役割論によってつくられてきた男らしさ女らしさと性的関係。</li> <li>4. 現代若者の性行動を性感染症と人工妊娠中絶の増加等から考える。</li> <li>5. 安心と安全の関係づくりを避妊と性感染予防から考える。</li> <li>6. 男性優位の行為としてのレイプ、セクハラ、性的暴力を考える。</li> <li>7. 買春と売春行為を考える。</li> <li>8. 性的マイノリティーを通して、性の普遍性と多様性から現代社会を考える。</li> <li>9. コミュニケーションとしての性を考える。</li> <li>10. メディアとジェンダー形成、特に男性形成を考える。</li> <li>11. 戦争文化とジェンダー形成を考える。</li> <li>12. 講義のまとめ。</li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>出席時数と毎回の意見・感想文 および 最終レポート</p>	

【授業科目】生活と健康	
【開講期】後期	【担当者】明渡陽子
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 健康の定義</li> <li>② 個人・集団の健康指標</li> <li>③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など）</li> </ol> </li> <li>2. 高齢社会とわが国の健康水準</li> <li>3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> <li>①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など）</li> <li>②アレルギー疾患</li> <li>③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等）</li> </ol> </li> <li>4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> <li>① 食事</li> <li>② 運動</li> <li>③ 休養とストレス</li> <li>④ 飲酒・喫煙の健康への影響について</li> </ol> </li> <li>5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について）</li> <li>6. わが国の保健医療体制</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 教養体育(実技)	バドミントン
【開講期】 1年前期	【担当者】 松岡由紀子
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。</li> <li>・ 運動技能と知識の習得。</li> </ul>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>【バドミントン】</p> <p>技能練習とゲーム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、グリップとシャトル慣れ</li> <li>2、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォアハンドストローク</li> <li>・ バックハンドストローク</li> <li>・ クリアー (ハイクリアー)</li> <li>・ ドロップ</li> <li>・ ドライブ</li> <li>・ ヘアピン</li> <li>・ プッシュ</li> <li>・ スマッシュ</li> </ul> </li> <li>3、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロングハイサービス</li> <li>・ ショートサービス</li> </ul> </li> <li>4、集団技能の練習</li> <li>5、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダブルス</li> <li>・ シングルス</li> </ul> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常点 (出席重視)</li> <li>・ 授業中に採点する。</li> </ul>	



【授業科目】 教養体育（実技）	テニス
【開講期】 1年前期	【担当者】 寺本圭
<p>【授業目標】</p> <p>テニスについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のような技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボール、ラケットに慣れる。</li> <li>2) フォアハンドボレー</li> <li>3) バックハンドボレー</li> <li>4) フォアハンドストローク</li> <li>5) バックハンドストローク</li> <li>6) ストロークラリー</li> <li>7) サービス、レシーブ</li> <li>8) 試合の進め方</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育（講義）	
【開講期】 後期	【担当者】 岡田光弘
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会におけるスポーツの意義、健康・体力づくりのための基礎知識について学習していくことで「健やかに生きるための基盤」について理解を深めることを目標にする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「現代メディアスポーツ論」 世界思想社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>「スポーツ学のみかた」 朝日出版社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のトピックについて順に、映像資料を用いて提示し、ともに考えてもらう。</p> <p>①テクノロジーの進歩とスポーツ科学  ②健康問題としてのドーピング  ③生涯スポーツと障害者スポーツ  ④現代社会とスポーツの商業化  ⑤見るスポーツと参加するスポーツ  etc.</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、定期試験</p>	

【授業科目】外国語Ⅰ	英語
【開講期】前期	【担当者】長尾主税
<p>【授業目標】</p> <p>基本的な英語の知識を確認し、これをもとに実際的な運用を目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業で指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業に入る前に、授業が行われるユニットに目を通し、知らない言葉を調べておく。</p> <p>CD、テープ等の音声を利用して、カタカナ発音では理解できない音やリズムを知り、これに慣れる。</p> <p>(一語ずつではなく意味のまとまりを理解できるよう心がける)</p> <p>テキストにある会話の内容を理解する。</p> <p>会話を成り立たせている文化背景を理解する。</p> <p>口語特有の表現を覚える。</p> <p>テキストにある表現を応用し、身近で具体的な事柄について口頭で表現する。</p> <p>忘れないうちに、習得した表現を記述してみる。</p> <p>テキスト付属のCDの会話を聞きながら、同じ速さ、強さ、リズムで会話をまねる。</p> <p>自然に覚えるまで何度でも繰り返し聞く。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、各課終了後の小テスト、学期末のテスト、平常点で総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 外国語 I	英語
【開講期】 前期	【担当者】 東郷裕
<p>【授業目標】</p> <p>重要な英文法を復習し、ある程度の長さの英文が読めることが出来るようになることを目標とする。文型、時制、品詞など英文を理解するうえで必要不可欠な文法事項を取り上げ、解説する。一つの文法事項が終わるごとに、長文を読んで理解できているかどうかを確認する。</p>	
<p>【テキスト】 <i>Basic Grammar for College Students</i> (成美堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「品詞・文型」「句・節・文」「動詞」「時制」「進行形」「完了形」「助動詞」を前期に、「不定詞」「分詞」「前置詞」「接続詞」「受動態」「比較・否定」「疑問詞」を後期に行う。授業においては、基本的に予習が前提となる。また、文法事項の理解の確認のため、随時小テストを行う。</p>	
<p>【評価方法】 小テスト及び前期・後期の授業内テストで評価をする。但し、欠席が全授業日数の三分之一を越えた時点で単位は取れなくなる。</p>	

【授業科目】 外国語 I	中国語
【開講期】 1 年前期	【担当者】 陳 志華
<p>【授業目標】</p> <p>この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の基礎文法、を身につけることである。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>方如偉・王智新・鍍屋一著『新版 中国語10課』白水社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、中国語の発音の基本を学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、中国語の基礎文法や対話練習を積み重ねていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】外国語 I	フランス語
【開講期】前期	【担当者】森佳子
<p><b>【授業目標】</b>  フランス語にふれることで、フランスの文化を知り、将来フランス語を習得したいと思うきっかけになればと考えている。また、日本語とは違う表現方法を知ること、なぜそうなるのか、モノを考えることのできる人を育成したい。  I では、まず発音に慣れてもらうこと、名詞にすべて性別があることを理解するまでを目標とする。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  モン フランセ （数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社）</p>	
<p><b>【参考書】</b></p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①発音（アルファベの読み方、発音と発音記号を一致させる）  ②名詞について（男性名詞と女性名詞、単数と複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞）  ③形容詞について（形容詞の性数は主語と一致する、形容詞の位置、指示形容詞、所有形容詞）  ④動詞の使い方（8 つの主語について、動詞は主語に応じて変化する、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形）  ⑤質問のしかた（疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞と定冠詞の縮約）  ⑥規則動詞の使い方（er 動詞の現在形、ir 動詞の現在形、代名動詞の現在形）</p> <p>この他、数字（0-20）を適宜覚える  各項目、2、3 回程度の授業で終えることを目標とする</p>	
<p><b>【評価方法】</b>  定期試験、提出物、小テスト、出席</p>	

【授業科目】外国語Ⅰ	ドイツ語
【開講期】1年前期	【担当者】濱野 英巳
<b>【授業目標】</b> ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。	
<b>【テキスト】</b> 清野智昭著「ドイツ語の時間<文法編>」(朝日出版社)	
<b>【参考書】</b> 開講時に指示する。	
<b>授 業 計 画</b>	
毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。	
1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。	
2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。	
3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。	
4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。	
<b>【評価方法】</b> 出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。	

【授業科目】 外国語 II	英語
【開講期】 後期	【担当者】 長尾主税
<p>【授業目標】</p> <p>前期で習得したことをもとに、複雑な文、会話の理解を試みる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業で指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期に同じ。</p> <p>ただし、聴解を利用した読解へ徐々に移行する。</p> <p>日本語とは異なる構造を持つ文をそのまま前から理解していく訓練を行う。</p> <p>辞書なしで読める平易なテキストを使い、できるだけ大量に読む。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、各課の小テスト、学期末のテスト、平常点で総合的に評価する。</p>	



【授業科目】外国語Ⅱ	英語
【開講期】後期	【担当者】東郷裕
<p>【授業目標】</p> <p>重要な英文法を復習し、ある程度の長さの英文が読めることができるようになることを目標とする。文型、時制、品詞など英文を理解するうえで必要不可欠な文法事項を取り上げ、解説する。一つの文法事項が終わるごとに、長文を読んで理解できているかどうかを確認する。</p>	
<p>【テキスト】 <i>Basic Grammar for College Students</i> (成美堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「品詞・文型」「句・節・文」「動詞」「時制」「進行形」「完了形」「助動詞」を前期に、「不定詞」「分詞」「前置詞」「接続詞」「受動態」「比較・否定」「疑問詞」を後期に行う。授業においては、基本的に予習が前提となる。また、文法事項の理解の確認のため、随時小テストを行う。</p>	
<p>【評価方法】小テスト及び前期・後期の授業内テストで評価をする。但し、欠席が全授業日数の三分之一を越えた時点で単位は取れなくなる。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅱ	中国語
【開講期】 1年後期	【担当者】 陳 志華
<p>【授業目標】</p> <p>この授業の目標は、①中国語の基本文法の理解力、②中国語の会話能力をさらに高めることである。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>方如偉・王智新・鎧屋一著『新版 中国語10課』白水社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、中国語の会話能力と基本文法を習得する。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】外国語Ⅱ	フランス語
【開講期】後期	【担当者】森佳子
<p><b>【授業目標】</b>  前期同様、フランス語にふれることで、フランスの文化を知り、将来フランス語を習得したいと思うきっかけになればと考えている。また、日本語とは違う表現方法を知ること、なぜそうなるのか、モノを考えることのできる人を育成したい。  Ⅱでは、Ⅰで学習したことをふまえ、言いたい事をフランス語で表現できるようになることを目標とする。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  モン フランセ （数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社）</p>	
<p>-----  <b>【参考書】</b></p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①不規則動詞について（aller 行く と venir 来る の現在形、近い未来と近い過去の作り方、他の不規則動詞）  ②複合過去形について（複合過去とは、avoir を使うタイプ、être を使うタイプ、代名動詞を複合過去にするには）  ③未来形について（単純未来形とはなにか、前未来形とはなにか）  ④質問のしかた（疑問副詞—いつ・どこ・どのように・なぜ、疑問代名詞—だれが・なにを、疑問代名詞—どれ・だれ、疑問形容詞—どんな・なんの、非人称構文—天候・時間）  ⑤比較について（比較級とは、最上級とは、特殊な形について）  この他、数字（20-1000）を適宜覚える  各項目、3 回程度の授業で終えることを目標とする</p>	
<p><b>【評価方法】</b>  定期試験、提出物、小テスト、出席</p>	

【授業科目】外国語Ⅱ	ドイツ語
【開講期】1年後期	【担当者】濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」（朝日出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。</li> <li>2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。</li> <li>3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。</li> <li>4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。</li> </ol> <p>注：「外国語Ⅱ（ドイツ語）」は、「外国語Ⅰ（ドイツ語）」の単位取得者か、相応のドイツ語力を有する者のみ履修可能。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 海外語学研修	
【開講期】 1年 2年 前期&夏期集中	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>3週間イギリスでホームステイしながら、現地の大学語学センターによる授業を受け、ナマの英語に触れながら、英語運用能力を高める。さらに、英語文化圏の生活に触れることによって英語という言葉の背後にある文化を吸収し、英語を総合的に理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業の柱は、8月5日成田出発—8月30日帰国の、イギリス滞在にある。 が、前期において、パスポートの取得から現地での生活に関する基礎講義、および簡単な英会話などを事前指導として5回行うことを含む。</p> <p>柱の部分の語学研修は、イギリスのリーズ市にあるリーズ。メトロポリタン大学語学センターが提供する研修(午前2コマの英語の授業)に3週間参加し、滞在はホームステイ。平日の午後はさまざまな課外授業が用意され、世界から集まってきている学生たちと、スポーツや映画鑑賞、町でのショッピングなどもできる。さらに、中世の趣を残したヨークという街や、文豪ブロンテ姉妹(「ジェーン・エア」「嵐が丘」などで有名)の暮らしたハワースなどへの遠足も実施する。</p> <p>大まかな日程は以下のようなスケジュールで、費用は47万円ちょっと、分割もできます。 8月5日 成田出発(プリティッシュ・エアウェイズを使用予定) ロンドン着 6日 ロンドン観光 7日 ロンドンから専用バスにてリーズへ 8日 ~ 26日 リーズにてホームステイ 語学研修 27日 リーズから専用バスにてロンドンへ 28日 ロンドン市内自由行動 29日 ロンドン・ヒースロー空港から帰国 30日 成田着</p> <p>担当の中島は全行程を同行します。この授業に参加することで外国語・応用英語の単位認定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地の評価を参考に、全行程の平常点、帰国後のレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話（基礎）	
【開講期】 1年 前・後期	【担当者】 サラ・ブロック
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>今まで学んできた英語を使ってみたことはありますか。外国の友達はいますか。英語を学んでも「英語はできない」「英語を使えない」と思っている人がいます。けれどそれは本当のことではなく、書く英語と話す英語は違うのだということを教えてくれなかった教科書英語がおかしかっただけなのです。</p> <p>正しい文法でコミュニケーションをとりながらも、自分の気持ちを正確に伝え、相手の気持ちを正確に受け止める力を身に付け、「英語ができる」「英語を使える」ようになることがこの授業の目標です。</p>	
<p><b>【テキスト】</b> プリントを配布</p> <p>(例) ① My neighborhood  ② How do you come to school?  ③ Shopping in an American Shopping mall  ④ Complaints department  ⑤ My Dream Vacation</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>【参考書】</b> 和英辞典・英和辞典（電子辞書・携帯電話を辞書として使用も可）</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>授業は会話中心です。</p> <p>最初は決まった会話文の中に自分のことを取り入れるなどのシンプルなものです。</p> <p>どんどんサポートを減らしていき、自分で話します。</p> <p>前期・後期の英語のレベルは、それほど変わりません。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>提出物、インタビューテスト、スキットの発表、その他</p>	

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	
【開講期】 前期	【担当者】 瀧口 優
<b>【授業目標】</b> 1. ビジネスに必要な英語とは何かを理解する 2. 実際にビジネスの世界で使われている英語を学ぶ 3. 実際にビジネス英語を使ってみる	
<b>【テキスト】</b> 必要に応じて紹介する	
<b>【参考書】</b> 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. ビジネスの世界について基本的な理解をする 2. ビジネスの世界で使われている英語とは何かを理解する 3. 新聞や雑誌の中から、ビジネスに関わる英文を取り上げて読む。 4. ビジネスに関わる英語の語彙を増やす。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	
【開講期】 1年 2年 後期	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>授業期間内では難しいかもしれないが、いずれ Time や News Week といった英語雑誌が読めるようになるように、その基礎を培う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>向山淳子「ビッグ・ファット・キャットの世界ー簡単な英語の本」幻冬社 2001年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>最初の2時間で英文を読むのに必要な基本文法（難しいと思わないでね）を説明します。その際に「ビッグ・ファット・キャットの世界ー簡単な英語の本」の方法を準用するので、受講する学生は事前に読んでおいてもらおうと分かりやすいと思います。</p> <p>最初は簡単な文から読んでいこう。英文を読むにはコツがあります。そのコツさえマスターしてしまえば、あとは語彙（単語量）です。語彙を増やすには、毎日こつこつと読みながら辞書を引いていきます。大変そうに思えますが、なれてくれば、必ずや楽しくなり、そして、読めるようになるのです。</p> <p>ある程度、文に慣れてきたら、いよいよ Time か News Week に挑戦してみましょう。ニュースを読めるようにするには、そのニュースを日本語で知ってしまうのが一番です。したがって、この授業では、世界のニュースを確認しながら英文に挑戦していきます。</p> <p>この授業を通して、世界通になり、英語通になってください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回単語のチェックを行います。その積み上げと平常点、出席点で評価します。</p>	



【授業科目】 選択外国語 異文化コミュニケーション	
【開講期】 後期	【担当者】 瀧口 優
<b>【授業目標】</b> 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
<b>【テキスト】</b> 必要に応じて指示する	
<b>【参考書】</b> 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であることを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 言語とコミュニケーション	
【開講期】 前期	【担当者】 佐々加代子
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』犀書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。『言語習得と人間関係』『子どもからの贈りもの』『発達臨床相談』</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語の特性</li> <li>2. コミュニケーションにおける言語</li> <li>3. コミュニケーションの基本的過程 ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離－信号行動系</li> <li>4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた</li> <li>5. 対象児・者によるコミュニケーション関係 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人</li> <li>6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容</li> <li>7. 両者の関係とQOL</li> <li>8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと ここでの1～8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】手話入門	
【開講期】 後期	【担当者】細田恵子
<p>【授業目標】  初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知ることによって、自分の内面を見つめる一助とする。それとともに、障害者と共生できる街作りにどう関わっていくかを模索する。</p>	
<p>【テキスト】随時プリントを配布する</p>	
<p>-----  【参考書】講義中に紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. まず、聴覚障害を持つ講師との意志疎通を図る方法について知る。</li> <li>2. 挨拶・自己紹介等の日常よく使用する手話を身につける。</li> <li>3. 聴覚障害問題について学ぶ。</li> <li>4. 聴覚障害とはどんな障害なのかを実体験する。(疑似体験)</li> <li>5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためには、どうしたらいいのか、かつ、授業で学んだことをこれからどういかしていくか、考え、実践して欲しい。</li> </ol> <p>* 毎回レポートを提出していただきます。</p>	
<p>【評価方法】  レポートと授業態度により評価する。</p>	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	
【開講期】1年 2年 前期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「わたし」と他者</li> <li>2) 視点と語り手</li> <li>3) 語り手の言語と無意識</li> <li>4) 表現か内容か</li> <li>5) 小説世界内とプロット</li> <li>6) 小説の蓋然性</li> <li>7) 作者の死</li> <li>8) 読者・印象批評</li> <li>9) 読みのあれこれ</li> <li>10) 人生とフィクション</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

[授業科目名] 造形美術とイマジネーション	[担当者] 八木 紘一郎
[開講期] 後 期	
[授業目標]	
<p>この授業では、造形美術の中でも、特に日頃見慣れている生活の中の身近な造形美術をとりあげ、それらの造形美術に込められた意味をイマジネーションをめぐらせて解読していく。身近なところの造形美術を通して、人間にとって、実は目に見えるモノゴト(造形美術)は見えないモノゴトをイマジネーションする方法として存在する関係性と意味を掘り下げる。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<p>1) 太古の歴史をさかのぼると、人の彫塑は、実は女性像だけが造られていた。なぜ、男性像は作成されていないのか、なぜ、女性像がはじめに造られたのか？何の目的で誰が造ったのかなどを実際の女性像の数々を見ながら考える。</p> <p>2) ミニチュアのキャラクター人形の世界を取り上げて考える。</p> <p>① 暮らしの中に置かれてきた「招き猫」をとりあげ、その造形美術を通して考える。右手を挙げている意味、左手を挙げている意味などを考える。</p> <p>② リカちゃん人形など「かわいい人形」を例にあげて人気の秘密、意味などについて考える。</p> <p>③ 「箱庭療法」で使われるミニチュアの造形美術世界の意味を考える。</p> <p>3) 異界の造形美術とイマジネーション</p> <p>① 多様に描かれ作られた妖精・妖怪・鬼・魔物など異界の生き物の造形美術をとりあげ、人はなぜそのような造形美術を創作したのかをイマジネーションする。</p> <p>② 異界の生き物の居住する場としての神殿や寺院等の造形美術を考える。</p> <p>③ 今は、スポーツとして扱われている、国技の相撲「横綱」のしめ縄と神社のしめ縄の関連、土俵入りの姿やしこを踏むなどの様相のひとつひとつに見られる異界とのコミュニケーションを考える。</p> <p>④ 独楽、凧あげなど伝承遊びと言われる昔遊びに見られる異界との関わり</p> <p>4) サンタ学～クリスマス関連の造形美術を考える～なぜ、サンタの服は赤いのか？サンタ誕生の地、起源、ツリー、丸太の形のケーキ、リースの形状などの意味を考える。</p> <p>5) 白と黒のイマジネーション。白地に描く東洋、黒地に描く西洋。どうして？など</p> <p>6) 図記号とイマジネーション</p> <p>身近な暮らしの中にある様々な図記号を解読しながら伝達デザインの諸相を考える。</p>	
[評価方法]	
平常点	

【授業科目】話(言葉)の伝承	
【開講期】1・2年前期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち話(言葉)によって、語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。 日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例とし、大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。</p>	
【テキスト】資料プリントを配布する。	
<p>【参考書】東喜望著『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>序</u> (1)わが国をニッポンというのはなぜか。 (2)国号と環太平洋の太陽神話</li> <li>2. <u>「神話」・「伝説」・「昔話」とは何か。</u></li> <li>3. <u>説話伝承の起源</u> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)自然と人間の意識</li> <li>(2)信仰と「語り」—個人・村落レベルから国家レベルへ。</li> <li>(3)神話の発展—伝説・昔話へ。</li> </ol> </li> <li>4. <u>伝承文芸の現代的意義</u></li> </ol>	
【評価方法】定期試験時のペーパーテスト(ノート・プリント等参照可)	

【授業科目】	絵本・絵巻と物語表現	
【開講期】	前期	【担当者】 久保木 寿子
【授業目標】	<p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。  「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの〈交響〉が  目指される訳です。  この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージ  の形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす〈交響〉が成り立つのか考  えたいと思います。</p>	
【テキスト】	プリント配布	
【参考書】	授業時に指示	
授 業 計 画		
I	<p>次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・表現の枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に</li> <li>2. 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に</li> <li>3. お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に</li> <li>4. 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくんときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に</li> <li>5. 紙芝居</li> <li>6. アニメーション 高畑・宮崎作品を例に</li> </ol>	
II	<p>上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 絵の視座・物語の視座</li> <li>2. 絵の空間表現・物語の空間表現</li> <li>3. 絵の時間表現・物語の時間表現</li> <li>4. 見、聞く人の位置と語り手の位置</li> </ol>	
III	<p>絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について</li> <li>2. ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について</li> <li>2. 絵・ことばの響き合いについて</li> </ol>	
<p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業ではありません。</p>		
【評価方法】	出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。	

【授業科目】	源氏物語の世界	
【開講期】	後期	【担当者】 久保木 寿子
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、&lt;どう生きるか&gt;に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>		
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>		
<p>-----</p> <p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメ・映画その他のビデオ 授業時に指示</p>		
授 業 計 画		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。</li> <li>2. 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。</li> <li>3. 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。</li> <li>4. 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③女三の宮 を中心に、それぞれの人物像を探っていく。</li> <li>5. 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が「天皇のような そうでもないような」地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとって、いったい何が重要なことなのか、考えたい。</li> <li>6. 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。</li> <li>7. 源氏物語の笑いについて考える。</li> <li>8. 物語表現の美しさについて考える。</li> <li>9. 源氏物語の古代性と現代性について考える。</li> </ol>		
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>		



【授業科目】 近現代の日本文学	
【開講期】 前期	【担当者】 高原二郎
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学作品など読むヒマにもっと役に立つことないの？</li> <li>・ 作家なんてホントはなにしてるんだろ。</li> <li>・ 文学史なんてのやらされてアタシタチメイワクなだけ！</li> <li>・ でも基礎知識くらいは仕方ないカモね。</li> </ul>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で紹介します。</p> <p>予習読書は強制しません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(内容)</p> <p>上記のように、「文学入門」的なねらいを含んだ文学理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 作家と社会—社会に対応する作家の姿勢、文学的展開。</li> <li>2 作家と時代性—作家や作品を社会の流れと照らして位置付けしてゆく試み。 以上2点を踏まえて、以下の展開にする予定です。</li> <li>3 テーマ、課題による読み解き。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 開化と西洋 (鷗外、漱石、荷風、光太郎)</li> <li>(2) 個人、エゴ、ヒューマニズム (漱石、白樺、龍之介)</li> <li>(3) 制度と人間 (啄木、武郎)</li> <li>(4) 自然と人間 (独歩、武郎、賢治)</li> <li>(5) 愛と人間苦 (武郎、太宰治)</li> <li>(6) 伝統と近代 (康成)</li> <li>(7) 戦争と人間 (峠三吉他)</li> <li>(8) 疎外と人間 (石牟礼道子)</li> </ol> <p>(なお、時間の都合で省略もあり得ます)</p> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート評価の予定</p>	

【授業科目】庶民の生活文化	
【開講期】後期	【担当者】高橋徹
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>私たちの親の世代や、祖父・祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の、日本人の生活の歴史を理解することと、それをふまえて、みなさんが自分自身の現在の生活について考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p><b>【参考書】</b></p> <p>加藤秀俊『暮らしの世相史』（中公新書、2002年）</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p>この授業では、生活文化といっても「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、歴史をたどりながら、テーマごとに古い映画や関連するドラマの一部分、ドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。上記の「参考書」は、直接授業では使いませんが、夏休みの間にでも読んでおかれると、この授業の理解が深まるでしょう。</p> <p>テーマには、次のようなものを予定しています（資料の関係で変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 時代と世代…生活史をつくる</li> <li>(2) 『映像の世紀』で見る20世紀の日本</li> <li>(3) 第二次世界大戦の時代</li> <li>(4) 戦後復興と闇市</li> <li>(5) 戦後民主主義と女性</li> <li>(6) 太陽族と「新しい」若者文化</li> <li>(7) 家電製品の普及</li> <li>(8) 高度経済成長時代のサラリーマン</li> <li>(9) 東京オリンピックがもたらしたもの</li> <li>(10) ビートルズ現象</li> <li>(11) 旅行の時代</li> <li>(12) 歌謡曲で聞く昭和</li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業内の小レポートと、期末のレポートを合わせて評価する予定です</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	
【開講期】 前期	【担当者】 先川 直子
<p>【授業目標】</p> <p>わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。</p> <p>本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものを中心に、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店）  小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷—</li> <li>2. モダンガール</li> <li>3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴—</li> <li>4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> <li>団地の誕生と核家族の増加</li> <li>家庭裁縫から既製服へ</li> <li>3種の神器と3C—家電製品の普及—</li> <li>インスタント食品の登場</li> </ul> </li> <li>5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論</li> <li>6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> <li>ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション—</li> <li>ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ—</li> <li>新人類文化とDCファッション</li> <li>ディスコ文化とボディコン・ギャル</li> <li>コギャル文化と携帯電話の普及</li> </ul> </li> <li>7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか—</li> <li>8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】現代英米の文学	
【開講期】1年 2年 前期	【担当者】中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。文学作品の読み方を学びながら、英米文学の特徴を理解することを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ  イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』  イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』  イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』  イギリス第5回 D.H. ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』  イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』  アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』  アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』  アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』  アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』  アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』  アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	
【開講期】 後期	【担当者】 瀧口 優
<b>【授業目標】</b> 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
<b>【テキスト】</b> 授業の中で指示する	
<b>【参考書】</b> 「英米児童文学の系譜」 こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 1) 「アラビアンナイト：アラジン」 (アラビア) 2) 「秘密の花園」 (イギリス) 3) 「オズの魔法使い」 (アメリカ) 4) 「美女と野獣」 (フランス) 5) 「モモ」 (ドイツ)	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 比較文化論・近代文明と日本人	
【開講期】 後期	【担当者】 高原二郎
<p>【授業目標】</p> <p>私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で示します。読書は義務としません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。</li> <li>・ 日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマニズム」については、特にしっかりと考えましょう。</li> </ul> <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の近代化と西洋 ー価値観についての基本理解ー       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文明の先進と後発</li> <li>(2) 新旧混乱期の実情</li> <li>(3) キリスト教、儒教、武士道</li> <li>(4) 文学者の西欧体験</li> </ol> </li> <li>2. 近代的な考え方へのアプローチ       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 個人、人格、エゴ</li> <li>(2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁</li> </ol> </li> <li>3. 自然と人間と近代 ー価値観についての展開ー       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 西洋の自然</li> <li>(2) 東洋の自然</li> <li>(3) 日本の自然</li> <li>(4) 自然と人間へのヒント</li> </ol> </li> <li>4. 自然科学と人間       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然科学をどのように考えるか</li> <li>(2) 自然科学と制度</li> <li>(3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」</li> <li>(4) 戦争</li> </ol> </li> <li>5. 現代社会と人間疎外 ー水俣病をめぐってー</li> </ol> <p>ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。</p>	

【授業科目】国境を越える民俗学	
【開講期】1・2年前期	【担当者】東 喜望
<p>【授業目標】古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。彼らの多くは、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業ではそんな民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のありよう、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、中国や東南アジアや日本の「国境を越えて」生きた人々の生活を重視する。</p>	
<p>【テキスト】資料プリントを配布する。</p> <p>映像資料(スライド・ビデオ・グラフィック)を使用。</p> <p>【参考書】適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「伝承」・「民俗」とは何が。</li> <li>2. 西歐民俗学・日本民俗学の発生と展開</li> <li>3. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活)       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 山人——日本の山人(マタギ・サンカなど)・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア)・ユーラシア大陸の遊牧民</li> <li>(2) 海人——日本の海人と家船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など)</li> </ol> </li> <li>4. 原初の定住生活——日本・アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。</li> <li>5. ムラの形成とその基本構造</li> <li>6. 村落祭祀と通過儀礼</li> <li>7. 民俗社会をつなぐ「結び」</li> </ol>	
<p>【評価方法】定期試験時のペーパーテスト(ノート・プリント等参照可)</p>	

【授業科目】 現代社会と人権	
【開講期】 前 期	【担当者】 武 藤 健 一
<p>【授業目標】</p> <p>2年後・1年後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出ていって、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>レ ジ ュ メ 配 布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山田 昌弘 「パラサイト・シングル」の時代」(ちくま新書) 伊田 広行 「シングル化する日本」(洋泉社 新書)</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>現代の日本社会は今急速に変化していっています。 そこで、女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働または恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>上記のどちらを取り上げるかは、他の授業の内容などを見て決定します。</p> <p>具体的には女性労働では、 ① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、 ⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によりますが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。 また、下記にあるように、平常点重視なので、学生にとって負担の大きい授業です。安易に単位取得を目的に受講しても、単位取得は不可能です。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(10・15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点+平常点：学期末試験(形式未定)=2：1</p>	



【授業科目】 憲法と私たち（日本国憲法）	
【開講期】 1年・2年 前期・後期	【担当者】 清水 雅彦
<b>【授業目標】</b> 1. 常日頃から社会問題に関心を持つようにさせる。 2. 法的な基本的発想ができるようにさせる。 3. 憲法の規定を正しく解釈し、理解させる。 4. 人権感覚や法的倫理観を身につけさせる。 5. 身の回りの問題について、自分で解決する勇気を持たせる。	
<b>【テキスト】</b> 『デイリー六法』三省堂	
<b>【参考書】</b> 播磨信義ほか編著『新・どうなっている!? 日本国憲法』法律文化社	
<b>授 業 計 画</b>	
1. 法・憲法とは何か (1) 新聞を読む～身の回りにどれだけ憲法問題があるか (2) 法の歴史～痴漢への対処法から人権の歴史を考える  2. 人権規定 (1) 人権の基本原則と制約原理～なぜ電車内で携帯電話はいけないの？ (2) 人身の自由～交通違反から警察との対処法を考える (3) 幸福追求権～プライバシー権や肖像権は憲法に書いていないけど (4) 法の下での平等～「バカチョンカメラ」と言っはいけない話 (5) 信教の自由～輸血拒否事件、地下鉄サリン事件、靖国問題…… (6) 表現の自由～危ないシャンプーvs知る権利、わいせつ表現vs表現の自由 (7) 思想・良心・学問の自由～学生も学校では主人公！ (8) 女性の権利～中絶すると女性は犯罪者!? (9) 生存権～将来、低所得者は病院に行けなくなる!? (10) 教育を受ける権利～個人を尊重する教育理念と現実 (11) 労働基本権～将来、会社人間にならないために  3. 統治規定 (1) 主権～天皇制と国民主権との関係 (2) 平和主義～憲法の定める平和主義の理念と現実 (3) 国会～選挙に行く前に知っておきたいこと (4) 内閣～議院内閣制と大統領制の違い (5) 裁判所～ドイツとの比較から日本の裁判を考える (6) 財政・地方自治～憲法でどのように規定されているか (7) 憲法の保障・憲法の改正～憲法を守れない人は公務員になれない!？	
<b>【評価方法】</b> 授業の出席と期末試験	

【授業科目】 日本とアジアの近現代史	
【開講期】 後期	【担当者】 佐藤いづみ
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代史は、その歩みを始めたときから、アジアとの大きな関わりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本人のまなざしに注目しながら、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>講義中に紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「学問のすすめ」から福沢の思想の根幹を読み取りつつ、「脱亜論」に展開された中国観、朝鮮観ともに、台湾論に注目</li> <li>* 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がヴェトナムに広げた波紋とその行方</li> <li>* 関東大震災時の朝鮮人虐殺・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力について、80周年の出版から学ぶ</li> <li>* 台湾の霧社事件・・・台湾でのドラマ化に見る、日本による台湾植民地化</li> <li>* 満州国建設と中国残留孤児・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国人</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】 社会福祉の考え方	
【開講期】 1年後期	【担当者】 山路憲夫
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「はじめての社会保障」(棕野美智子・田中耕太郎著、有斐閣アルマ)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>I 広義の社会福祉とはなにか 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性</p> <p>II 社会福祉の成立の背景</p> <p>III 社会福祉の各制度の現状と問題点 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度</p> <p>IV 21世紀の課題 少子高齢化と負担と給付の現代的問題</p> <p>V まとめ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	
【開講期】1年 前期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施、男女共同参画社会基本法の制定など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を發揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー</li> <li>2、 女性のライフサイクルの変化</li> <li>3、 ジェンダー統計に見る現状と課題</li> <li>4、 労働とジェンダー</li> <li>5、 福祉とジェンダー</li> <li>6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー</li> <li>7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験かレポートにするか現時点では未定。他に平常時の提出物、出席状況を加えた総合評価。</p>	

【授業科目】 現代世界とマイノリティー	
【開講期】 1年 2年 後期	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティー（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティーが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティーが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティー問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティー）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティー問題を多く抱えている。ネイティブ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティー問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティーとは</p> <p>帝国主義と植民地の遺産</p> <p>民族紛争</p> <p>人種の坩堝からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティー</p> <p>アメリカ黒人の歴史</p> <p>ネイティブ・アメリカン</p> <p>ユダヤ人</p> <p>アジア系アメリカ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】女性労働の問題	
【開講期】1年 後期	【担当者】富永静枝
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 近代日本における女性労働の歩み</li> <li>2、 女性労働の現状と課題</li> <li>3、 女性労働と法</li> <li>4、 女性労働の国際比較</li> <li>5、 家事・育児・介護と女性労働</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 地域生活と家族	
【開講期】 後期	【担当者】 民秋 言
<p>【授業目標】</p> <p>私 humans は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ出、育ち、生活し、老年を送る。この家族は地域のなかにある。地域のあり方と大きく関わっている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義の中で必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同 上</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間にとって家族とは何か</li> <li>2. 家族のはたらき(機能)</li> <li>3. 家族のなかの人間関係 (1) 夫婦関係</li> <li>4. 同 上 (2) 親子関係</li> <li>5. 同 上 (3) 兄弟関係</li> <li>6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度</li> <li>7. 同 上 (2) 核家族と直系家族</li> <li>8. 地域社会の変化・都市化</li> <li>9. 地域のなかに生活・コミュニティ</li> <li>10. 地域生活と家族のあり方</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>パワーテストと出席点による</p>	





專門教育科目（1年）



<b>【授業科目名】</b> 心理学概説	
<b>【開講期】</b> 1年前期	<b>【担当者】</b> 専任教員
<b>【授業目標】</b> 心理学という学問の歩みや基本的な考え方を学びます。また、これから勉強していく心理学の各分野を概観します。	
<b>【テキスト】</b> <b>【参考書】</b> 個々の授業の中で紹介します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学の歴史と基本的立場——金子</li> <li>2. 実験心理学——————多喜乃</li> <li>3. 人格心理学——————金</li> <li>4. 発達心理学——————佐久間</li> <li>5. 学習心理学——————荻野</li> <li>6. 社会心理学——————倉澤</li> <li>7. 知覚心理学——————金子</li> <li>8. 生理心理学——————多喜乃</li> <li>9. 臨床心理学——————金</li> <li>10. 自己心理学——————佐久間</li> <li>11. 心理学の研究法——————荻野</li> <li>12. 心理学と社会——————倉澤</li> </ol> <p>※授業の順序は多少入れ替えられることがあります。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。	

【授業科目】 児童心理学	
【開講期】 1年前期	【担当者】 佐久間路子
<p>【授業目標】</p> <p>乳児期・幼児期・児童期におけるさまざまな領域の発達過程について、ビデオや資料を用いて解説する。心理学的なアプローチから、子どもに対する理解を深めてもらいたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>無藤隆編 『発達心理学』 ミネルヴァ書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜指示する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>乳児期から児童期にかけての発達過程を、以下のテーマに沿って概説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 見ること、聞くことの発達</li> <li>2. 乳児期の親子関係</li> <li>3. 子どもの個性と気質</li> <li>4. 知的能力の発達</li> <li>5. 心の理解の発達</li> <li>6. ことばの発達</li> <li>7. 自己と情動の発達</li> <li>8. 道徳性の発達</li> <li>9. 幼児期の仲間関係、親子関係</li> <li>10. 学校への移行</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小レポート、期末筆記試験をもとに総合的に評価する</p>	

【授業科目】 知覚心理学	
【開講期】 1年後期	【担当者】 坂田勝亮
<p><b>【授業目標】</b>  知覚をとりまく古今のトピックスから、我々が見るという行動を考え、知覚に関する心理メカニズムを理解する。このためにさまざまな知覚現象を実際に経験し、心理現象として捉える基礎とする。また知覚心理学における研究法に関しても学び、知覚研究を通して心理学的考え方を身に付けながら、心とは何かについて考えを深めていく。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  市川伸一編著『心理測定法への招待』（サイエンス社）</p>	
<p>-----  <b>【参考書】</b>  必要に応じて指示する。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.知覚とは:カメラオブスキュラからヴァーチャルリアリティまで</li> <li>2.知覚心理学の基本概念:心理物理対応</li> <li>3.知覚現象Ⅰ:幾何学的錯視</li> <li>4.知覚現象Ⅱ:ゲシュタルト学派</li> <li>5.知覚現象Ⅲ:マッハの本・エイムズの窓</li> <li>6.知覚現象Ⅳ: 仮現運動</li> <li>7.知覚現象Ⅴ: 色知覚 1</li> <li>8.知覚現象Ⅵ: 色知覚 2</li> <li>9.視知覚系のメカニズムⅠ:眼球から視覚野へ</li> <li>10.視知覚系のメカニズムⅡ:Magnocellular 系と Parvocellular 系</li> <li>11.各種の心理測定法</li> <li>12.心理測定の実際:恒常法</li> <li>13.知覚心理学研究とはⅠ:条件分析</li> <li>14.知覚心理学研究とはⅡ:測定結果の考察</li> <li>15.まとめ</li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b>  授業における提出物等</p>	

【授業科目】 学習心理学	
【開講期】 1年前期	【担当者】 荻野 七重
<p>【授業目標】</p> <p>人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、行動分析の手法でもある条件付けについて理解することを主な目的とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 (サイエンス社)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 学習とはなにか</p> <p>2. 古典的条件づけ</p> <p>始めに I. P. パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づけについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活に見られる事例を通して、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験によって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。</p> <p>テキスト 1章</p> <p>3. オペラント条件づけ</p> <p>B. F. スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨床場面に応用されるかを示す。</p> <p>テキスト 2章</p> <p>4. 社会的学習</p> <p>自分自身の直接的体験によってではなく、他人の体験や経験を見聞きすることで起こる学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。</p> <p>テキスト 4章</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験 ノート等持込不可</p>	

<b>【授業科目】 認知心理学</b>	
<b>【開講期】 1年後期</b>	<b>【担当者】 荻野 七重</b>
<b>【授業目標】</b>	
<p>思考および記憶に関する多くの実験的研究を通して明らかにされた事実や理論を紹介する。思考については、特にことば、概念の獲得、推理の発達的变化の過程を見ていく。また、記憶については、記憶の過程、記憶する材料、時間的要因、個人の持っている知識等と記憶の関係等を考える。</p>	
<b>【テキスト】</b>	
<p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 (サイエンス社)</p> <p>これは、「学習心理学」の教科書と同じものです。</p>	
-----	
<b>【参考書】</b>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>1. 問題解決と推理            問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ            認知の発達と推理 (J. P. ピアジェ)            演繹的推理と機能的推理            創造性 (集中的思考と分散的思考)                      テキスト   5章</p> <p>2. 概念過程と言語の獲得            概念の構造と概念学習            言語の獲得と思考                                              テキスト   6章</p> <p>3. 記憶と忘却            記憶とは何か            記憶の研究法 (記憶材料と測定法)            短期記憶と長期記憶            忘却            記憶術                                                                      テキスト   7章</p> <p>4. 有意味材料の記憶            エピソード記憶と意味記憶            記憶の変容                                                                      テキスト   8章</p>	
<b>【評価方法】</b>	
<p>筆記試験 ノート等の持込不可に</p>	

【授業科目】 性格心理学	
【開講期】 1年 後期	【担当者】 金 愛慶 (きむ えきよん)
<p>【授業目標】</p> <p>「性格とは何か?」, 「性格は如何に形成されるのか?」  「性格心理学の分野では何を研究するのか?」,  「性格心理学での研究はどのような貢献をしているのか?」,  などをキーワードにし, 性格心理学を概観する.</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>性格心理学は、「性格が人間の適応にどのようにはたらくのか」、また、「性格はどのように形成されるのか」など、性格の役割と形成過程を研究する心理学の一領域である。そして、性格心理学は心理検査や臨床心理学など応用心理学の基礎となる分野でもある。</p> <p>なお、性格とは多くの人々が持つ普遍的特性とその人のみが持つ特徴的個性が合わさった概念であり、大変興味深い研究テーマである。性格心理学の講義では、この性格というテーマが与えてくれる興味深いトピックスを様々な観点から紹介し、性格という概念の理解を深めることとする。</p> <p>講義は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 性格の定義と性格の諸要素の紹介</li> <li>2) 性格の捉え方：類型論と特性論の各論</li> <li>3) 性格の形成と発達：性格形成要因，性格の社会化と個性化の諸相</li> <li>4) 各学派における性格の理解：精神分析的・現象学的・行動論的</li> <li>5) 性格における健常と異常の様相：性格と適応障害との関連</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験と出席率（重視）</p>	



【授業科目】 生理心理学																													
【開講期】 1年 後期	【担当者】 多喜乃 亮介																												
<p><b>【授業目標】</b>  心の働きと、それを成立させる脳の働きについて学習する。直接心を見ることはできないが、その背後にあって活動している脳の活動や身体的な変化は観察できる。日常生活でそうした働きを意識することは多くないかもしれないが、事故や病気によって脳に損傷を受けると、身体活動だけではなく、心にも大きな影響を受けることが知られている。この授業では脳の働きと心を中心に学習し、心が直接意識できない様々な働きによって支えられていることを理解する。</p>																													
<p><b>【テキスト】</b>  プリントを配布する</p>																													
<p><b>【参考書】</b>  随時紹介する</p>																													
<b>授 業 計 画</b>																													
<p>以下の項目に従って講義を進める予定である</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 心の座</td> <td>ギリシア・ローマ時代, 脳, 心臓, 霊</td> </tr> <tr> <td>2. ルネッサンス期</td> <td>哲学的洞察, 観察, 二元論, 脳機械論</td> </tr> <tr> <td>3. 言語野の発見</td> <td>骨相学, 失語症, ブローカの言語野, 機能局在論</td> </tr> <tr> <td>4. 科学的探究の始まり</td> <td>動物実験, 運動野の発見, 脳の基本構造, ニューロン</td> </tr> <tr> <td>5. 人の脳の研究法</td> <td>脳外科手術, 脳波, 脳磁図, 血流変化 (PET, fMRI など)</td> </tr> <tr> <td>6. 感覚信号と脳</td> <td>感覚受容器, 神経, 体性感覚野, 視覚野, 聴覚野</td> </tr> <tr> <td>7. 自律神経系</td> <td>交感神経系, 副交感神経系, 脳幹, 反射・調節</td> </tr> <tr> <td>8. 中枢神経系</td> <td>大脳皮質, 神経線維, 大脳辺縁系, 基底核, 小脳</td> </tr> <tr> <td>9. 連合野の働き 1</td> <td>側頭連合野, 形の知覚, 色の知覚, 動きの知覚, 失認</td> </tr> <tr> <td>10. 連合野の働き 2</td> <td>頭頂連合野, 立体視, 空間知覚, 半側空間無視, 失行</td> </tr> <tr> <td>11. 左右の脳</td> <td>分割脳, 優位脳, 劣位脳, 言語的認識, 非言語的認識</td> </tr> <tr> <td>12. 感情・情動と脳</td> <td>恐怖, 条件情動反応, 快・不快, 扁桃体, 表情認知</td> </tr> <tr> <td>13. 連合野の働き 3</td> <td>運動前野, 前頭前野, 反応抑制, 作業記憶, 前頭葉症状</td> </tr> <tr> <td>14. まとめ・試験</td> <td></td> </tr> </table>		1. 心の座	ギリシア・ローマ時代, 脳, 心臓, 霊	2. ルネッサンス期	哲学的洞察, 観察, 二元論, 脳機械論	3. 言語野の発見	骨相学, 失語症, ブローカの言語野, 機能局在論	4. 科学的探究の始まり	動物実験, 運動野の発見, 脳の基本構造, ニューロン	5. 人の脳の研究法	脳外科手術, 脳波, 脳磁図, 血流変化 (PET, fMRI など)	6. 感覚信号と脳	感覚受容器, 神経, 体性感覚野, 視覚野, 聴覚野	7. 自律神経系	交感神経系, 副交感神経系, 脳幹, 反射・調節	8. 中枢神経系	大脳皮質, 神経線維, 大脳辺縁系, 基底核, 小脳	9. 連合野の働き 1	側頭連合野, 形の知覚, 色の知覚, 動きの知覚, 失認	10. 連合野の働き 2	頭頂連合野, 立体視, 空間知覚, 半側空間無視, 失行	11. 左右の脳	分割脳, 優位脳, 劣位脳, 言語的認識, 非言語的認識	12. 感情・情動と脳	恐怖, 条件情動反応, 快・不快, 扁桃体, 表情認知	13. 連合野の働き 3	運動前野, 前頭前野, 反応抑制, 作業記憶, 前頭葉症状	14. まとめ・試験	
1. 心の座	ギリシア・ローマ時代, 脳, 心臓, 霊																												
2. ルネッサンス期	哲学的洞察, 観察, 二元論, 脳機械論																												
3. 言語野の発見	骨相学, 失語症, ブローカの言語野, 機能局在論																												
4. 科学的探究の始まり	動物実験, 運動野の発見, 脳の基本構造, ニューロン																												
5. 人の脳の研究法	脳外科手術, 脳波, 脳磁図, 血流変化 (PET, fMRI など)																												
6. 感覚信号と脳	感覚受容器, 神経, 体性感覚野, 視覚野, 聴覚野																												
7. 自律神経系	交感神経系, 副交感神経系, 脳幹, 反射・調節																												
8. 中枢神経系	大脳皮質, 神経線維, 大脳辺縁系, 基底核, 小脳																												
9. 連合野の働き 1	側頭連合野, 形の知覚, 色の知覚, 動きの知覚, 失認																												
10. 連合野の働き 2	頭頂連合野, 立体視, 空間知覚, 半側空間無視, 失行																												
11. 左右の脳	分割脳, 優位脳, 劣位脳, 言語的認識, 非言語的認識																												
12. 感情・情動と脳	恐怖, 条件情動反応, 快・不快, 扁桃体, 表情認知																												
13. 連合野の働き 3	運動前野, 前頭前野, 反応抑制, 作業記憶, 前頭葉症状																												
14. まとめ・試験																													
<p><b>【評価方法】</b>  筆記試験 (持ち込み不可) および授業時間中に行う課題の提出によって行う</p>																													

【授業科目】プレゼンテーション技法	
【開講期】1年 前期	【担当者】小林 玄
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>心理学の研究を進めていく上で必要とされる、「調べる力」「まとめる力」「発表する力」の養成と「考察力」の向上を目標とする。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>随時、プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p><b>【参考書】</b></p> <p>講義の中で適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 心理学用語の調べ方</li> <li>2 心理学文献の調べ方</li> <li>3 科学レポートの構成</li> <li>4 科学レポートの文章表現</li> <li>5 研究結果の考察の深め方</li> <li>6 心理学研究法の種類と特色</li> </ol> <p>上記内容について講義を行う。 1クラスを幾つかの小グループに分け、ディスカッション、調査、発表などの演習も行う。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>グループ活動も行う為、出席重視。 小レポート及び定期試験により評価を行う。</p>	

【授業科目】 心理学実験演習	
【開講期】 1年前期	【担当者】 荻野・金子・金・倉澤・多喜乃・佐久間
<p>【授業目標】</p> <p>基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することを通して、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量化や図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。また、自分自身の心理検査を行い、自己の何がどのように捕らえられるのかを考えながら、心理テストの正しい使い方、結果の正しい理解の仕方を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「実験演習の手引き」と、テーマ毎に実験あるいはテストの方法とデータの整理方法などをまとめたプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>6グループ（1グループ12～13）に別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験と心理検査等を行う。</p> <p>実験あるいは心理検査は、担当教員からその目的、方法について説明を受けた後、実験者あるいは被験者となって実験や検査を行い、データを作る。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点、検査診断と解釈の方法等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の実験の前日までに各自レポートを書き、提出する。</p> <p>演習のテーマ（予定 変更の可能性あり）</p> <p>導入実験 : ミューラー・リャーの錯視 2点閾の測定  実 験 : 鏡映描写 大きさの恒常 情報の伝達と変容 対連合学習 反応時間  心理テスト : エゴグラム・向性検査</p> <p>クラス別け、実験日程、実験室・教室等は、授業の第1回の時にプリントを配布し、説明する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験は行わない。平常時に提出した全レポートの点に基づいて評価をする。</p>	

【授業科目】 心理テスト・調査演習	
【開講期】 1年後期	【担当者】 荻野・金子・金・倉澤・多喜乃・佐久間
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>心理学実験演習では実験室での基礎実験を中心としたが、この演習では課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、実験室に限定されない場面での調査、心理テストなど行う。ただし基礎実験としての動物実験を含む。</p> <p>調査では、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化や尺度化の手法、心理テストではその実施方法と判定・診断法等を学習する。また、動物実験を経験し、人間以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>テーマ毎に調査や検査の方法、データの処理方法、結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。そのほか実験レポートを書くときの注意集（事例や基本法則を示した冊子）を配布する。</p>	
<p><b>【参考書】</b></p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>心理学演習 I と同様、6 グループに別れて行う。</p> <p>内容は、実験、調査、心理テストからなる。心理テストを含む 6 つのテーマは、2 週を単位として行われる。</p> <p>各テーマごとにレポートを作成し、提出する。</p> <p>演習 I と異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2 年生の卒業研究発表会に出席しなければならない。</p> <p>演習のテーマ（予定 変更の可能性あり）</p> <p>実験／調査：オペラント条件づけ 尺度構成 イメージの測定 好悪の尺度化 要求水準</p> <p>心理テスト：YG 性格検査・内田クレペリン精神検査</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>定期試験は行わない。平常時に提出した全レポートの点に基づいて評価をする。</p>	

【授業科目】 論文の読み方	
【開講期】 1年後期	【担当者】 佐久間路子
<p>【授業目標】</p> <p>文献（専門書や学術論文）を読むことは、心理学の研究を進めていく上で基本的なことではあるが、十分に読みこなすためには、論文の形式や専門用語をしっかりと理解する必要がある。そこでこの授業では、前半は研究論文の読み方について解説し、後半では実際に学術論文を読んで、授業内で報告し、論文の読み方を具体的に学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>資料を配布する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜指示する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>&lt;前半&gt; 講義</p> <p>心理学の分野に関する説明、研究法や論文の構成などの観点から論文の読み方に関する解説。</p> <p>&lt;後半&gt;グループ発表</p> <p>グループに分かれて、実際に学術論文を読み、レジメにまとめて授業内で報告する。さまざまな学術論文にふれることで、心理学全般に関する専門用語やキーワードを理解する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、グループ発表などをもとに総合的に評価する</p>	

【授業科目】 論文の読み方	
【開講期】 1年後期	【担当者】 林 潔
<p>【授業目標】</p> <p>英文の心理学のテキストに親しみましょう。 心理学の英単語に慣れましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストのCopyをお渡しします。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>なし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>外国の高校生向けの心理学のテキストのcopyを使います。</p> <p>1. Normality and abnormality  (1) Defining abnormal behaviour  (2) Explaining and treating abnormal behaviour  (3) Modern views of abnormal behaviour</p> <p>2. Intelligence  (1) What is intelligence  (2) Is there a general factor of intelligence?  (3) How is intelligence measured?  (4) What is an IQ?  (5) How are IQ scores distributed in the population?  (6) Is there a genetic basis for intelligence?</p> <p>3. Personality  (1) Type theories of personality  (2) Trait theories of personality</p> <p>進行に応じて、先に行きますが、大体この辺の前後で毎年終わっています。</p> <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。アドレスは次のとおりです。  hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点です。授業参加の度合いで評価します。</p>	

【授業科目】論文の読み方	
【開講期】1年後期	【担当者】高橋浩子
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>1 心理学の論文（臨床関係）を読みながら基礎知識の習得。  2 ライフサイクル上における危機とそのサインとしてあらわれる症状について学ぶ。  3 臨床においてクライアントと接する時必要となる「傾聴」について学ぶ</p>	
<p><b>【テキスト】</b>こちらでプリントを用意します。</p>	
<p>-----</p> <p><b>【参考書】</b></p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p>授業では、短いレポートを読みながら、ライフサイクル上の課題と、各段階で臨床的に生じやすい問題についてあつかいます。またそのような問題がなぜおこるのかについても考えてみたいとおもいます。同時に、実際には、クライアントの話を聞くと言うのはどういうことなのか、基本的な共感とは何なのかについても事例を通して学んでいきます。取り上げる事例は、女性に関するものがおおいので自分自身の問題について考えるきっかけになることと思います。</p> <p>以下に上げる項目を、できる限りとりあげながら進めていきます。</p> <p>幼児期 母親と子供の関係 虐待をする親 虐待を受けた子供  児童期 学校生活 家族 友人  思春期 反抗期 心と体の変化  青年期 さまざまな将来の選択肢 自立  成人期 仕事、結婚、家族を持つこと、離婚 自殺 心中  喪失体験  中年期 心身の変化 空の巣症候群 アルコール依存症  老年期 老化とはいったいなにか 周囲との関係や役割の変化</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>出席 平常点 レポート</p>	

【授業科目】 論文の読み方	
【開講期】 1年後期	【担当者】 茂垣 まどか
<b>【授業目標】</b> 1. 心理学のテキストや論文の読み方（理解の仕方）を学ぶ 2. 心理学の基礎的な知識や心理学的視点を取得する 3. 2により，自分自身についての心理的洞察と，他者の心理に対する理解を深める	
<b>【テキスト】</b> 資料を配布します	
<b>【参考書】</b> E.H.エリクソン 幼児期と社会 1・2 みすず書房	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>皆さんはなぜ心理学を学ぼうと考えたのでしょうか。動機はさまざまだと思いますが，心理学を学ぶ利点の一つは，自分自身や他者の心理をより深く理解するための，いくつかの枠組み（視点，切り口）を取得できるということです。心理学にはさまざまな考え方（理論）がありますから，皆さんはそれらを理解し，その上で，それらの考え方がどのような具体的な出来事や具体的な気持ち（心理）に当てはまるか，吟味する必要があります。</p> <p>そこでこの授業では，心理学のテキストや論文を読む訓練を通して，皆さんが心理学の知識や視点を取得し，自己洞察や他者の心理に対する理解を深めることを目的としています。</p> <p>授業で取り上げるテーマは，主に人格発達に関連する内容です。テキストや論文の難しさや具体的な内容は，受講者の要望や理解の程度に応じて対応します。</p> <p><b>【取り上げる内容（予定）】</b>  人格発達に関する理論（E.H.Erikson の自我発達理論）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Erikson の理論において，主体的でいきいきとした健康な人格の発達とは，どのようなものであるか</li> <li>・ アイデンティティの発達とその後の人格発達（親密性，生殖性 generativity）：人は，社会の中での自身の生き方や価値観をどのように形成するか。またその後の発達について（人生のパートナーとの親密な関係，次世代に残すものを育むこと）</li> </ul>	
<b>【評価方法】</b> 授業の準備，授業中の数回の小レポート，期末のレポート，出席状況を加味して評価します	



【授業科目】心理統計Ⅰ	
【開講期】1年前期	【担当者】荻野 七重
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解する。 記述統計学の習得。電卓の有効な操作と、統計値の求め方の習得。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社) 6章まで 7章以降は心理統計Ⅱで使われる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>1章 統計法と測定値</p> <p>2章 度数分布と統計図表</p> <p>3章 中心傾向の測度</p> <p>4章 得点の散布度</p> <p>5章 正規分布と相対的位置</p> <p>6章 直線相関と直線回帰</p> <p>授業では電卓を用いる。使用する電卓は、数値を入力することによって簡単な統計値を算出することのできる機能を持ったものであり、機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに、指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。</p> <p>電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。また、試験の際にも使うことができる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>中間試験および期末試験 ノート・教科書・電卓の持込み可</p>	

【授業科目】 心理統計 I	
【開講期】 1 年前期	【担当者】 日向野智子
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>心理学における統計学の意味を理解し、心理学の実験や調査に必要な統計学の基礎を学習します。まず、データの特性に応じて情報を取りまとめ、集約する方法である記述統計法を学びます。また、関数電卓による統計値の求め方も習得します。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内光哉著 サイエンス社</p>	
<p><b>【参考書と配布プリント】</b></p> <p>授業中にその都度紹介します。必要に応じてプリントを配布します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストの1～6章を順に学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進め方と心理学における統計利用の意味、関数電卓の使い方</li> <li>2. 統計法と測定値</li> <li>3. 度数分布と統計図表</li> <li>4. 度数分布図と統計図表の書き方</li> <li>5. 中心傾向の測度</li> <li>6. 得点の散布度</li> <li>7. 正規分布と相対的位置</li> <li>8. 直線相関と直線回帰</li> </ol> <p><b>【電卓の使用】</b></p> <p>授業では関数電卓を利用します。使用する電卓の機種は学科で指定し、生協で販売します。指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくても結構ですが、説明を受けなくても1人で利用できるように、ご自身で学習されると良いでしょう。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業時間内に実施する小テスト、定期試験、および出席点によって総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 心理統計Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 荻野 七重
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 （サイエンス社） 7章以降</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合</p> <p>(11章 より複雑な分散分析 要因計画)</p> <p>12章 カイ2乗検定</p> <p>(13章 順位による統計法) (14章 ピアソンの <math>r</math> の検定と種々な相関係数)</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行い、11、13、14章は授業の進行に応じて行う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>中間試験および期末試験 ノート・教科書・電卓の持込み可</p>	

【授業科目】 心理統計Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 日向野智子
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>母集団（全体）から抽出された標本（一部）の値を手がかりとして、母集団の値を推測する推測統計法を学習します。心理学におけるデータの検定は、推測統計法に立脚していることを理解した上で、心理学の実験や調査で施される基礎的な検定を学習し、会得することを目標とします。また、統計ソフトウェアを正しく利用するための統計的な基礎知識を学びます。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内光哉著 サイエンス社</p>	
<p>-----</p> <p><b>【参考書と配布プリント】</b></p> <p>授業中にその都度紹介します。必要に応じてプリントを配布します。</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p>テキストの7章以降を学習します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の進め方と前期の復習</li> <li>2. 母集団と標本 <ul style="list-style-type: none"> <li>記述統計学と推測統計学との違い</li> </ul> </li> <li>3. 統計的仮説の検定と区間推定</li> <li>4. 2つの平均値の差の検定と区間推定</li> <li>5. 分散分析入門――1要因の場合</li> <li>6. より複雑な分散分析――要因計画</li> <li>7. カイ2乗検定</li> </ol> <p>授業の理解度や進行具合に合わせて、学習の内容を変更することもあります。また、心理統計Ⅰと同様に関数電卓を用います。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業時間内に実施する小テスト、定期試験、および出席点によって総合的に評価します。</p>	

【授業科目名】 コンピュータ演習 I	
【開講期】 1年前期	【担当者】 倉澤寿之
<p><b>【授業目標】</b>          コンピュータ利用の初歩を学びます。ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  <b>【参考書】</b>          指定しません。</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータの仕組み</li> <li>・ キーボードリテラシーの養成</li> </ul> </li>   <li>2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子メールの仕組み</li> <li>・ 電子メールによる情報交換</li> <li>・ 電子メールの構造と迷惑メール</li> </ul> </li>   <li>3. 表現ツールとしての利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワードプロセッサの編集機能の活用</li> <li>・ 情報の保存と活用</li> <li>・ 思考ツールとしてのワードプロセッサの活用</li> </ul> </li>   <li>4. 情報処理ツールとしての利用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表計算ソフトの基礎的な活用</li> </ul> </li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b>          課題をネットワーク経由で提出してもらいます。</p>	

【授業科目】 コンピュータ演習 I	
【開講期】 1年前期	【担当者】 日向野智子
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>コンピュータ利用の初歩を学習します。ワープロとしての利用やプレゼンテーションツールとしての活用、電子メールでのコミュニケーション、インターネットによる情報検索などを通じて、情報化社会に対応するためのメディアリテラシーの基本を身につけてゆきます。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>プリントを配布します。</p>	
<p><b>【参考書】</b></p> <p>必要に応じて紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータを使い始めるにあたっての説明 授業の進め方、コンピュータの各部分の名称、使い方の説明</li> <li>2. キーボードリテラシーの養成 漢字変換、カタカナ、アルファベットの入力の仕方 文章入力的基础を学習</li> <li>3. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての活用 WWWによる情報検索、電子メールの利用</li> <li>4. ワープロソフトの活用と効果的な活用法 文字の挿入、削除、移動など、編集機能の活用 情報の保存と活用 チラシやレポートの作成</li> <li>5. プレゼンテーションソフトの活用 効果的なプレゼンテーション</li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業時間内の小テストと出席点によります。</p>	

【授業科目名】 コンピュータ演習Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 倉澤寿之
<b>【授業目標】</b> 主に表計算ソフトウェアの実習を通して、データの総合的な扱い方を学びます。コンピュータを使っでのデータ処理の基本的な手法を理解するとともに、プレゼンテーションツールとしてのコンピュータ利用についても知識を得ることをめざします。	
<b>【テキスト】</b> <b>【参考書】</b> 指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 表計算ソフトの活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトによる一般的なデータ処理</li> <li>・表計算ソフトによる心理学データ処理</li> </ul> </li>   <li>2. 統計処理ソフトの利用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計処理ソフトによるデータ処理の基本</li> <li>・統計処理ソフトによる調査データ処理</li> </ul> </li>   <li>3. プレゼンテーションツールとしてのコンピュータ利用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトの基本</li> <li>・プレゼンテーションソフトを使った効果的な発表の実習</li> </ul> </li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> ネットワーク上での実技試験及び課題提出を行います。	

【授業科目】 コンピュータ演習Ⅱ	
【開講期】 1年後期	【担当者】 日向野智子
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>表計算ソフトウェアと統計ソフトウェアを実習します。表計算ソフトウェアの実習では、データを表に整理し、処理し、グラフ化するなど、データの総合的な扱い方を学習します。統計ソフトウェアの実習では、心理学の調査研究に用いられるデータ解析や結果出力表の読み方を学びます。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>プリントを配布します。</p>	
<p><b>【参考書】</b></p> <p>必要に応じて紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 表計算ソフトの活用</p> <p>表計算ソフトの基本</p> <p>売上表やお小遣い帳など、一般的なデータ処理</p> <p>グラフの作成</p> <p>データベースとしての利用</p> <p>その他便利な使い方</p> <p>2. 表計算ソフトとワープロソフトとの連携</p> <p>文書ファイルに表や図を挿入する方法</p> <p>実験レポートの作成</p> <p>3. 統計ソフトウェアの実習</p> <p>統計ソフトウェアの基本</p> <p>統計ソフトウェアを使ったデータ解析</p> <p>出力表の読み方</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業中の小テストと出席点によります。</p>	



特別選択科目（1年）



【授業科目】 時事・社会特講	
【開講期】 1・2年 後期	【担当者】 市原祐則・今井 博・小林洋子
<p>【授業目標】</p> <p>《市原》日本経済の実情、日本を代表する会社の活動現況などについて、基礎的知識・常識の修得を目標とする。更に、社会人として生きていくために必要な株式会社に関する初歩的常識を身に付け、就職活動の一助にしたい。</p> <p>《今井》マスメディア、特に新聞報道の実態を探り、新聞を読み、ニュースを追う楽しさを知る。</p> <p>《小林》・社会人になるための心構えを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社組織を知る</li> <li>・就職活動に向けての自己啓発のあり方を学ぶ</li> </ul>	
<p>【テキスト】</p> <p>《市原》プリント・レジュメを配布して行う</p> <p>《今井》プリントを配布</p> <p>《小林》特に指定はありません。参考文献等を授業の進行に応じて適宜使用します</p> <p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>《市原》①日本が経済分野において占める世界的地位とこれからどうなるかの予測</p> <p>②日本経済を支える若い女性の現状</p> <p>③日本の労働雇用の現状と若い女性の役割</p> <p>以上3点を踏まえて、受講生に課題レポートを作成してもらう。</p> <p>《今井》①新聞はどのようにつくられるのか。</p> <p>②新聞は同じではない。全国紙が取り上げるニュースは大同小異だが、その報道姿勢は微妙に違う。</p> <p>実際のニュース報道にそくしてその違いを解説する。</p> <p>《小林》①現代社会と職業観</p> <p>②企業をとりまく環境</p> <p>③会社とは何か</p> <p>④職業選択と適正</p> <p>⑤企業が求める人材</p> <p>⑥能力開発と自己啓発</p> <p>⑦コミュニケーション力を磨く</p> <p>⑧企業面接について</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>《市原》出席状況、小テスト、課題レポートを総合して評価</p> <p>《今井》授業中のレポートなど</p>	

【授業科目】 労働・健康特講	
【開講期】 後期	【担当者】 木元稔
<p>【授業目標】</p> <p>生涯を通じて自立と生きがいをもったアクティブライフが期待されているが、ボランティア、雇用、健康づくり、余暇・生涯学習、金融・税金・年金、福祉情報などの多様な科目を学ぶことにより、これから社会に巣立つ学生にとっては社会人としての基礎的な知識を身につける。</p> <p>また「生きがい情報士」の資格取得を目指す場合は、CD-ROM を駆使してパソコンによる生きがいづくりの情報提供を学ぶ。0</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「生きがい情報士養成テキスト」1・2</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>[テキスト1]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢社会と生きがいづくり</li> <li>2. 社会参加とボランティア</li> <li>3. 就労と中高年雇用対策</li> <li>4. 健康づくりと生活習慣病</li> <li>5. 余暇と生涯学習</li> <li>6. 経済金融と税金・年金</li> <li>7. 食生活と運動・休養</li> <li>8. 福祉相談と介護保険</li> </ol> <p>[テキスト2、資格取得の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 社会福祉援助技術</li> <li>10. 調査広報・イベント技術</li> <li>11. ライフプラン技術</li> <li>12. パソコンによる演習</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護総論	
【開講期】 前期	【担当者】 関谷栄子 他
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術を学ぶ。</li> <li>・ 家庭及び福祉施設における要介護者を対象とした自立支援のための介護の視点及び介護技術を学ぶ。</li> <li>・ 家庭介護技術には高齢者・障害者（児）の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し家族を含めた相談援助について学ぶ。</li> <li>・ この授業ではこれら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が修得できるように講義を進める。</li> <li>・ この授業と「家庭介護演習」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</li> </ul>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉の理念とサービスの進め方</li> <li>2. サービス提供の基本視点</li> <li>3. 老人福祉の制度とサービス</li> <li>4. 障害者（児）福祉の制度とサービス</li> <li>5. ホームヘルプサービス概論</li> <li>6. ホームヘルパーの職業倫理</li> <li>7. 障害・疾病の理解（Ⅰ）、（Ⅱ）</li> <li>8. 高齢者・障害者（児）の心理</li> <li>9. 高齢者・障害者（児）等の家族の理解</li> <li>10. 介護概論       <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 相談援助とケア計画の方法</li> <li>12. 医学の基礎知識</li> <li>13. 在宅看護の基礎知識</li> <li>14. 住宅。福祉用具に関する知識</li> <li>15. 共感的理解と基本的態度の形成</li> <li>16. リハビリテーション医療の基礎知識</li> </ol> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート内容及び出席点により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護演習	
【開講期】 前期	【担当者】 森山千賀子、西方規恵 他
<p>【授業目標】  介護福祉に関する技術、ヒューマンケアサービス（対人援助技術）に必要な技術、特に家庭及び施設における介護技術を展開する方法を学ぶ。  この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【参考書】 授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基本介護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事や入浴などの生活の介護</li> <li>・ 肢体不自由者の移動介助</li> <li>・ 視覚障害者の歩行介助</li> <li>・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備</li> <li>・ 緊急時の対応</li> <li>・ 援助者の健康管理</li> </ul>	
<p>【評価方法】  出席点、 レポート・その他により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護実習	
【開講期】 前期	【担当者】 西方規恵 他
<p>【授業目標】</p> <p>介護福祉技術及び、ヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技能を習得し、介護福祉施設及び在宅介護の現場で実習する。</p> <p>この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>施設などにおける実技実習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設介護の現場実習</li> <li>2. 在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者（児）の家庭における在宅介護の同行訪問、見学実習</li> <li>3. 在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する</p>	





教養教育科目（2年）



【授業科目】 海外語学研修	
【開講期】 1年 2年 前期&夏期集中	【担当者】 中島 好伸
<p>【授業目標】</p> <p>3週間イギリスでホームステイしながら、現地の大学語学センターによる授業を受け、ナマの英語に触れながら、英語運用能力を高める。さらに、英語文化圏の生活に触れることによって英語という言葉の背後にある文化を吸収し、英語を総合的に理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業の柱は、8月5日成田出発—8月30日帰国の、イギリス滞在にある。  が、前期において、パスポートの取得から現地での生活に関する基礎講義、および簡単な英会話などを事前指導として5回行うことを含む。</p> <p>柱の部分の語学研修は、イギリスのリーズ市にあるリーズ。メトロポリタン大学語学センターが提供する研修(午前2コマの英語の授業)に3週間参加し、滞在はホームステイ。平日の午後にはさまざまな課外授業が用意され、世界から集まってきている学生たちと、スポーツや映画鑑賞、町でのショッピングなどもできる。さらに、中世の趣を残したヨークという街や、文豪ブロンテ姉妹(「ジェーン・エア」「嵐が丘」などで有名)の暮らしたハワースなどへの遠足も実施する。</p> <p>大まかな日程は以下のようなスケジュールで、費用は47万円ちょっと、分割もできます。</p> <p>8月5日 成田出発(ブリティッシュ・エアウェイズを使用予定) ロンドン着  6日 ロンドン観光 7日 ロンドンから専用バスにてリーズへ  8日 ~ 26日 リーズにてホームステイ 語学研修  27日 リーズから専用バスにてロンドンへ 28日 ロンドン市内自由行動  29日 ロンドン・ヒースロー空港から帰国  30日 成田着</p> <p>担当の中島は全行程を同行します。この授業に参加することで外国語・応用英語の単位認定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地の評価を参考に、全行程の平常点、帰国後のレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 応用英語I	
【開講期】 前期	【担当者】 藤田久美子
<p>【授業目標】          今までの培ってきた英語力を使って、英語による様々なニュースを題材にしたビデオ教材に取り組み、主として読解と聞き取りの両方の面での力を少しでも向上させるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】          ABC World News 6 (金星堂)</p> <hr/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>このクラスでは、アメリカのABC放送が現在も放映中の「ABC World News」を題材にしたテキストを使用して、生の口語英語を聞いていくと練習を(したい)と思う。</p> <p>放送英語は少量ながらも相当難しいと感じられる(ことが、何度もビデオを見、音声テープを聞く事により、徐々に理解できるようにしていく必要がある。</p> <p>テキストは、各々のニュースに出ている重要単語、表現の認識、ニュースそのものの読解、部分的な聞き取り、内容理解の問題などで成り立っている。</p> <p>授業は予習を前提に進めるので、出席者は必ず授業前にテキストを一読(出る問題をやり、単語や表現の分らないものを辞書で調べた)おいてほしい。</p>	
<p>【評価方法】          出席状況、平常の学習問題の結果、学期末テストの成績を総合して評価を出す。</p>	

【授業科目】 応用英語 I	
【開講期】 2年前期	【担当者】 石井 輝
<p>【授業目標】</p> <p>英語の基礎学力を向上させ、英語の読み物を通して情報や知識を得られるようにする。また、教材にある構文や言い回しを用いて、英語での自己表現力を養う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>The World Heritage (三友社出版) 補助教材として随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>用法、例文が豊富な英和・和英辞典。その他は授業中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>指定のテキストを十分な注釈を頼りに読み進め、英文読解の力を養うとともに、世界遺産についての認識や知識を深める。補助教材として配られるプリントを学習し、易しい英詩を書いたり、自らの生活や考えを易しい英語で表現する。また、英語の歌や英文による俳句や川柳作りなども授業で扱う予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験、および授業への取り組み状況（出欠、ノートやワークシート）、課題などを総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 応用英語 I	
【開講期】 2 年前期	【担当者】 富澤典子
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 年で学んだ英語力発展のため、リスニング、文法、リーディングに中心をおき、各技能のさらなる向上を図る。</li> <li>2. 上記三点の技能向上により各種英語検定(英検、TOEIC など)に役立つ英語基礎学力をつける。</li> <li>3. 教材におけるトピックを通じ、異文化理解を図る。</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p>Power-Up English (Basic)</p> <p>『総合英語パワーアップーリスニングからリーディングまで(基礎編)』 南雲堂</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各章はリスニング、文法、リーディングの三つのセクションから出来ています。一回の授業で一章ずつ進む予定です。</li> <li>2. 音声英語の特性理解のため、何度もテープを聴きリスニングの練習をします。</li> <li>3. 文法のセクションでは、日本人が間違えやすい問題を中心に、文法力の再点検及び強化を図ります。</li> <li>4. リーディングのセクションでは、身近なトピックを通じて、様々な文化の理解に努めます。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業態度、定期試験をもとに、後期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】 応用英語Ⅱ	
【開講期】 後期	【担当者】 藤田久美子
<p>【授業目標】          今まで培ってきた英語力を使って、英語による様々なニュースを題材にしたビデオ教材に取り組み、主として読解と聞き取りの両方の面での力を少しでも向上させるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】          ABC World News 6 (金星堂)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>このクラスでは、アフリカのABC放送が現在も放映中の「ABC World News」を題材にしたテキストを使用して、生の口語英語を聞いていく練習を(したいと思う。</p> <p>放送英語は少量ながらも相当難しいと感じられる(だろうが、何度もビデオを見、音声テープを聞く事により、段々と慣れ、理解できるようにしていくであろう。</p> <p>テキストは、各そのニュースに出ている重要単語、表現の確認、ニュースそのものの読解、部分的な書き取り、内容理解の問題などで成り立っている。</p> <p>授業は予習を前提に進めるので、出席者は必ず授業前にテキストを一読(出る問題をやり、単語や表現の分らないものを辞書で調べたおいてほしい。</p>	
<p>【評価方法】          出席状況、平常の練習問題の結果又、学期末テストの成績を総合して評価を出す。</p>	

【授業科目】 応用英語Ⅱ	
【開講期】 2年後期	【担当者】 石井 輝
<p>【授業目標】</p> <p>英語の基礎学力を向上させ、英語の読み物を通して情報や知識を得られるようにする。また、教材にある構文や言い回しを用いて、英語での自己表現力を養う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>The World Heritage (三友社出版) 補助教材として随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>用法、例文が豊富な英和・和英辞典。 その他は授業中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>指定のテキストを十分な注釈を頼りに読み進め、英文読解の力を養うとともに、世界遺産についての認識や知識を深める。補助教材として配られるプリントを学習し、易しい英詩を書いたり、自らの生活や考えを易しい英語で表現する。また、英語の歌や英文による俳句や川柳作りなども授業で扱う予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験、および授業への取り組み状況（出欠、ノートやワークシート）、課題などを総合的に評価する。</p>	



【授業科目】 応用英語Ⅱ	
【開講期】 2年後期	【担当者】 富澤典子
<p>【授業目標】</p> <p>1. 前期の進み具合を見て、弱点補強を図る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>未定</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 前期でリスニング、文法、リーディングの基礎学力を養成する予定であり、皆さんの英語学習の長所、短所を把握した上で、後期の授業計画はたてます。後期授業のテキスト、授業形態は前期授業中に知らせします。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業態度、定期試験の3点で評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話（応用）	
【開講期】 2年 前・後期	【担当者】 サラ・ブロック
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>大学で英語を学ぶと英語が楽しくなります。</p> <p>もっと会話をし、自分のこと、周りのこと、日本のことを外国のかたに伝えること、そして英語を話す外国のかたと楽しく交流できるようになること（例えば就職先に外国のかたが訪ねて来た時、パニックにならず平然とした態度で「can I help you?」と言えるようになること）が目標です。</p> <p>力を伸ばすためにはチャレンジが必要なので難しくなりますが、わざと難しくはしません。</p>	
<p><b>【テキスト】</b> プリントを配布</p> <p>（講義を休んだ場合は学生同士でコピー等してください。）</p>	
<p><b>【参考書】</b> 和英辞典・英和辞典（電子辞書使用も可）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>様々な応用英語をします。</p> <p>英会話（基礎）と同じプリントで、深く発展する場合があります。</p> <p>散歩（学外授業）をし、外の空気を吸いながら、周りの自然を英語で表現、説明します。</p> <p>ニュースを読み、自分の意見を述べます。</p> <p>歌を聴いたり歌ったりして、その意味を探ります。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>インタビューテスト、提出物、夏休みの課題、スキットを行う可能性もあり</p>	

【授業科目】 選択外国語 フランス語会話	
【開講期】 前期 後期	【担当者】 村山知恵
<p>【授業目標】 フランス語を1年間学んだ学生も、フランス語が初めての学生にも、フランス語を学ぶ楽しみを味わってもらいたいです。フランス語は、今まで勉強してきた英語と同じアルファベットを使い、文法も非常に似ていながら、発音が全然違い、その文化や歴史、人々の考え方も大分違います。そんなことをフランス語を学びながら感じる事ができれば、居ながらにして外国の人と触れる喜びが広がると思います。</p>	
<p>【テキスト】 " Bienvenue en France I" (ビデオ教材) ビデオは大学にあります。 Hatier/Didier</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 仏和辞典</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>*はじめは発音練習 (プリントによって説明します)</p> <p>*次に教科書に入ります。</p> <p>*授業の最初には必ずビデオ (10分ほど) を見ます。その内容を理解するように努めます。</p> <p>*各課についている文法練習 (テープもついてます) をします。</p> <p>*各課についているフランス文化の紹介を読みます。</p> <p>*最後に各課のビデオのストーリーを訳してみましよう。</p> <p>*全部で13課ありますが、前期に6課、後期に残りを修了できるように努力します。</p> <p>すべてフランス語で書かれているので、はじめは大変だと思うかもしれませんが、いつの間にか辞書を引くのが楽しくなるとよいと思います。</p>	
<p>【評価方法】 前期後期ともレポートによって成績を評価します。</p>	

【授業科目】 選択外国語 ドイツ語会話	
【開講期】 2 年前期・2 年後期	【担当者】 濱野 英巳
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語はドイツのみならず、永世中立国のスイスや音楽の都ウィーンを首都に持つオーストリアといった様々な国で話されている言葉である。ほとんどの履修者にとって未知の言葉であろうドイツ語だが、文法の説明は必要最小限にとどめ、何よりもまずドイツ語に触れ、そしてドイツ文化に触れることを目標としたい。これからグローバル化社会を迎えるにあたり、英語以外の外国語を併せて学ぶことは、客観的な視点を持つという意味において非常に有効であろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>清野智昭著「ドイツ語の時間〈文法編〉」（朝日出版社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回90分の授業で、読み・聞き取りの練習、文法の学習などを行い、さらにCDやコピーを利用しての様々なトピックの紹介、受講者全員でのディスカッションなどによって、ドイツ語・ドイツ文化への理解を深める。詳しくは以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 読み・聞き取りの練習—最初は教科書を中心に一人一人のチェックを行うが、徐々に歌詞や詩などを教材にして、グループで練習を行えるようにする。</li> <li>2. 文法の学習—必要最小限の文法事項を頭に入れた後は、課題の進展度合いに応じて徐々に説明を加えて行く。与えられた文法ではなく、自ら文法を発見するという姿勢が重要。</li> <li>3. トピックの紹介—文学、音楽、料理、玩具…といった様々なトピックを紹介する。履修者の興味や問題意識によって内容の変更もあり得る。</li> <li>4. ディスカッション—各自がインターネットなどで発見したドイツに関するトピックを紹介し合い、ディスカッションをすることで興味の範疇を広げ、問題意識を深めて行く。</li> </ol> <p>注：通常は「外国語ⅠⅡ ドイツ語」の続編として、自己表現に重点を置いたより発展的な学習を行うが、今年度に限り、上記の内容でドイツ語の基礎から始める。履修者の希望によっては、後期から会話表現の学習を交えることも可能。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、授業中の質疑応答など、小テストの成績を総合して評価する。また「良い質問」には別途プラスα点を考慮することもある。</p>	

【授業科目】 選取外国語(英文講読)

【開講期】 通年

【担当者】 藤田久美子

【授業目標】  
様々な雑誌、新聞記事等から選んだ多彩なトピックで構成されているテキストを読みこく事で、さらに読解の力をつけていくことを目標としている。

【テキスト】  
「Reading Communicator」 (Read and Think About 20)  
Current Topics  
(三修社)

【参考書】

授 業 計 画

このクラスは 4年制大学への編入希望の学生を対象とするクラスである。  
クラスでは、上記テキストを主に使いながら、英文を読みこく訓練を積み重ね、その内にだんだんに読解の作業に慣れ、また多少早く、容易に理解していくことが出来るようにしたいと思っている。  
文章を読むという事は、その間から「題と想像力を使っている」ということである。その文章が英語で書かれたものであれば、そこにさらに「英語の構文」という条件が加わるので、さらに難しく感じるのは致し方のないところである。そこで十分な予習を行ふ必要がある。出席者はよく調べ考えは必ず十分予習をし、分からないところは自分でチェックして授業に臨んでほしい。  
授業は言及しても5分程度、あるいは内容についての5分程度の質問に答えでも5分程度しなから進めていきたい。  
その他 読むに手慣れると思われるところの記事などをコピーして配り、読むのもう機会も持たせたいと思う。

【評価方法】 出席状況、平常の練習問題の結果、また学期末のテストの結果を総合的に評価する。



專門教育科目（2年）





【授業科目】 発達心理学Ⅱ	
【開講期】 2年前期	【担当者】 佐久間路子
<p>【授業目標】</p> <p>生涯発達における青年期について、以下にあげたテーマに関して、青年期ならではの特徴を理解することを目的とする。これまでの自分自身の成長過程、現在、そして将来について想像しながら、積極的に授業に参加してほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>遠藤由美著 『青年の心理：ゆれ動く時代を生きる』 サイエンス社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜指示する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下のテーマについて、教科書や資料に基づき講義を行う。 また各テーマに関してディスカッションを行い、小レポートを提出してもらう予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯発達における青年期</li> <li>2. 移行期としての青年期</li> <li>3. 身体発達</li> <li>4. 恋愛とセクシャリティ</li> <li>5. 性と性役割</li> <li>6. 自己概念、自尊感情</li> <li>7. アイデンティティ</li> <li>8. 将来展望</li> <li>9. 人間関係</li> <li>10. 青年期の諸問題</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業中の小レポート、期末筆記試験をあわせて総合的評価する</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 専任教員 他
<p><b>【授業目標】</b>          心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  <b>【参考書】</b>          必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていきます。</p> <p>前期の「心理学研究演習」では、専攻研究に関する文献の購読や予備調査などを行い、後期の「卒業研究」で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的です。</p> <p>研究成果は2月の「卒業研究発表会」で心理学科の内外に向けて発表されます。また、研究報告書(レポート)は個人ごとに作成し、後期末に提出します。</p> <p>研究テーマの決定方法などについては、前年度の卒業研究発表会の前後に掲示による説明があります。</p> <p>次のページ以降に、担当教員の提示したテーマを掲載します。</p>	
<p><b>【評価方法】</b>          出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 荻野七重
<p>【授業目標】          心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】          【参考書】          必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>記憶に関する実験的研究</p> <p>「学習心理学Ⅱ」で、記憶についていくつかの実験や理論を見てきました。前期は少し集中して記憶についてもう一度勉強しなおし、その一方で、簡単な基礎的実験を自分たちの手で、自分たちなりに考えて行ってみるのは面白いと思います。後期は、自分たちの日常生活に目を向けて、確かめてみたい現象や事柄について仮説を立て、それを検証することを目的として、実験の方法を考え、実験を行って確かめてみる、あるいは、これまでに行われている実験を少し変えて実験をし、新しい側面を見つけ出す、こうしたことをしたいと思います。調査的なものよりも、実験的なものが好きな人の参加を希望します。</p>	
<p>【評価方法】          出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 金子尚弘
<p><b>【授業目標】</b>          心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  <b>【参考書】</b>          必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p><b>応用行動分析1</b></p> <p>行動は、弁別刺激－自発的反応－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は似ているようで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものに行っているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを、実験動物や、ヒトを用いた実験で考えてみます。</p> <p><b>応用行動分析2</b></p> <p>自閉症児とは、奇異な行動を繰り返し行なったり、言語発達が遅れ、他人に対する反応が欠如している子供の事です。この子供たちを対象として、行動分析の手法を用いて言葉や新しい行動を教えます。前期は、行動分析学な療育方法を勉強すると共に、子供を観察し一緒に勉強することで、子供を理解します。後期は、前期の経験をもとに、その子供に合わせて学習計画を立て、子供が半年間でどのように成長していくのか、卒業研究としてまとめます。3～5名で一人の子供を担当することになります。</p>	
<p><b>【評価方法】</b>          出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 金愛慶
<b>【授業目標】</b> 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
<b>【テキスト】</b> <b>【参考書】</b> 必要に応じて、指導教員が指示します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<p style="text-align: center;"><b>青年期特有の心理状態による心の不健康について</b></p> <p>青年期とは性的特徴が顕著となり、自我意識が著しく発達する14, 5歳から24, 5歳頃までの時期を指します（広辞苑）。この時期の最大の発達課題は、自我同一性（self-identity）の確立であります。すなわち、自分自身について確立した概念（自己概念）を獲得し、主体性を確立します。それ故に、青年期は自分が他人にどう見られているかという他者評価を意識しやすい時期であり、自意識過剰な心理状態によってさまざまな心理・社会的トラブルが発生しやすい時期でもあります。2004年度の卒論のゼミでは、「青年期特有の心理状態」についての基礎知識を深め、青年期で引き起こされやすいとされる様々な心の不健康について卒業研究を行います。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究
【開講期】	2年前期・後期
【担当者】	倉澤寿之
<b>【授業目標】</b> 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
<b>【テキスト】</b> <b>【参考書】</b> 必要に応じて、指導教員が指示します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<p style="text-align: center;"><b>携帯電話に関する調査</b></p> <p>現在の携帯電話には、メールを読み書きする機能やインターネット上の情報を直接見ることのできる機能などが次々と加わっています。携帯電話はもはや、単に音声通話をするための道具ではなく、文字や画像を含むさまざまなコミュニケーションや情報探索のための道具へと進化しています。</p> <p>そこで、この研究では、携帯電話の使われ方とそれが与えるさまざまな影響について調査することを通して、私たちと携帯電話との結びつきを調べてみようと思います。前回(2002年度)は、携帯電話メールを含むメールアドレスの決め方についての調査を行いました。このテーマをさらに深めるもよし、別の面に注目するもよし、自分たちの興味に沿っていろいろ考えてみましょう。</p> <p style="text-align: center;"><b>「恥」に関する研究</b></p> <p>いろいろな場面で「恥ずかしい」と思うことがあります。自分で失敗したときはもちろんですが、他の人の失敗を見たときにも同じような感情を覚えることがあります。この「恥」について調べてみようと思います。</p> <p>「恥」についての心理学的研究も数多く行われていますから、まずはそれらにあたってみましょう。その上で、恥ずかしさを覚える場面を集めて分類したり、世代ごとの違いを調べたり、相手との関係によって恥の感覚がどのように異なるか調べたり、などいろいろな研究プロジェクトが考えられます。参加者同士で議論しあいながら進めていきましょう。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 多喜乃亮介
<p>【授業目標】          心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】          【参考書】          必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p style="text-align: center;"><b>複数の「感覚」に関連する研究</b></p> <p>これまで、「違和感」といった「言葉」にならない私たちの経験について卒業研究を行いました。その中で、視覚・聴覚・体性感覚といった様々な感覚の組み合わせが重要な役割を果たしていることが分かってきました。</p> <p>個々の感覚種に関連した研究は心理学の歴史の初期の頃から多くの取り組みがありますが、複数の感覚の組み合わせに関しては、まだ知られていないことが多くあります。</p> <p>日常生活で使われる「実感」や「違和感」、あるいは「リアリティー」といった言葉は、まさにそのような感覚の組み合わせを捉えた表現のようです。</p> <p>そこで今年度は、「言葉になりにくい経験」から一歩進めて、「感覚の組み合わせ」について取り組んでみようと思います。複数の感覚を表現する言語表現にはどのようなものがあるのか文献や調査によって検討したり、あるいは、実験的に特定の感覚入力を変化させた場合に、どのような経験が生ずるのか検討してみようと思います。</p> <p>一応、調査を中心としたグループと実験を中心としたグループを考えていますが、集まったメンバーの希望によって直接的なテーマの最終決定を行います。</p>	
<p>【評価方法】          出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 林潔
<p>【授業目標】          心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】          【参考書】          必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p style="text-align: center;">ストレスと健康について</p> <p>「ストレスと健康について」が、全体のテーマです。          このことについて、次の3つの視点から考えます（3つのサブグループをつくります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ストレスへの対処法（コーピング）について。</li> <li>2. ストレスと健康との関係</li> <li>3. ストレスをもたらす条件は</li> </ol> <p>幅広く情報を集め、問題を明らかにしていきましょう。</p>	
<p>【評価方法】          出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	



【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	
【開講期】 2年前期・後期	【担当者】 佐久間路子
<p>【授業目標】          心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】          【参考書】          必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p style="text-align: center;">幼児期・児童期の発達の研究 ー子どものことを子どもにきくー</p> <p>子どもは、日常生活の中で、様々な人とかかわり、いろいろな体験をすることで、たくさんのことを、子どもなりに理解していきます。自分自身のこと、友達のこと、心の働き、気持ち、社会的なルール、ファンタジー（想像物）などを、子どもがどのように理解していくのか、その発達の様子を、まずは文献を通して理解を深めます。卒業研究では、特に子どもに直接たずねること（面接法や簡単な実験法）にこだわって、子どもなりの理解の実態を明らかにしていきたいと考えています。対象は幼稚園児や小学生を考えています。</p> <p style="text-align: center;">子ども観に関する研究 ー子どものことを大人にきくー</p> <p>こちらのテーマでは、子どものことを大人にたずねることで、生涯発達に応じた子ども観を明らかにしたいと考えています。少子化、核家族化が進む現在では、自分が子育てをする前に、乳幼児に日常的にかかわることが少なくなっています。大人がどのくらい子どもの発達に関する知識を持ち、子どもに対してどのような意識や感情を抱いているかを明らかにすることは、成人に対する子育て支援を行ううえで重要な手がかりとなるでしょう。卒業研究では、各自で具体的なテーマを設定し、子育てをまだ経験していない大学生や、現在子育てをしている母親や父親などを対象として研究を行います。方法としては面接法（インタビュー調査）や質問紙調査が考えられます。</p>	
<p>【評価方法】          出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	投影法（ロールシャッハ・テスト）
【開講期】 2年 前期	【担当者】 金 愛慶（きむ えきよん）
<p>【授業目標】</p> <p>投影法の最も代表的な検査であるロールシャッハ・テストを体験することによって、投影法による研究方法を学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>資料配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>投影法とは、曖昧な刺激を提示しその刺激に対する個人の特有の反応を分析することによって、個人の精神内界の理解を深める心理検査法の一つである。投影法に様々な心理検査が開発されているが、臨床的心理診断に最も多く用いられるものとしてはロールシャッハ・テストがあげられる。</p> <p>本授業では、ロールシャッハ・テストの実施や解釈方法を実際に体験することによって投影法による研究方法を学習する。</p> <p>授業は次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 第1回目：投影法心理検査の外観（ロールシャッハ・テストを中心に）</li> <li>2) 第2回目：ロールシャッハ・テストの実施</li> <li>3) 第3回目：ロールシャッハ・テストの結果処理Ⅰ</li> <li>4) 第4回目：ロールシャッハ・テストの結果処理Ⅱ</li> <li>5) 第5回目：ロールシャッハ・テストの結果解釈Ⅰ</li> <li>6) 第6回目：ロールシャッハ・テストの結果解釈Ⅱ</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席率とレポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法													
【開講期】 2年 前期	【担当者】 多喜乃 亮介												
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>人の脳活動測定法の中でも，外部から非侵襲的に脳を安全に測定できる方法としては脳波記録がある．今でも脳研究上，人に関する測定では重要な役割を果たしている．ただし，頭蓋の上から記録を行うために，測定上および分析上いくつかの注意が必要になる．ここでは実際に脳波記録を行い，簡単な分析を経験し，脳波記録に現れた変化が脳のどのような働きを反映しているのかについて理解を深める．</p>													
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>プリントを配布する</p>													
<p><b>【参考書】</b></p> <p>宮田 洋 他，『新生理心理学』，北大路書房，1998年</p>													
<p>授 業 計 画</p>													
<p>前半は記録方法について実習を行い，ノイズの少ない記録ができるようになり，記録に含まれる脳波とそれ以外の生体電気現象を区別できるようにする．</p> <p>次に各自の脳波を記録し，それを題材として自発脳波の特徴について学習する．</p> <p>最後に，脳波に含まれる微細な変化を引き出す事象関連電位の手法を紹介し，簡単な実験を行うことで，人の認知機能をとらえる実験手法の一端を理解する．</p> <p>以下の項目に従って進める．</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;">1. ガイダンス</td> <td style="vertical-align: top;">脳の構造と脳波の発生源，記録上の注意点</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2. 電極の装着実習</td> <td style="vertical-align: top;">電極の種類，基準電極，電極の配置</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3. 自発脳波の測定</td> <td style="vertical-align: top;">安静時の記録，精神作業時の記録，眠気と脳波の変化</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">4. 自発脳波の分析</td> <td style="vertical-align: top;"><math>\alpha</math>波，<math>\beta</math>波，<math>\theta</math>波，<math>\delta</math>波，睡眠脳波，異常脳波</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">5. 事象関連電位の記録</td> <td style="vertical-align: top;">注意を向けた刺激と無視した刺激 (Oddball 課題)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">6. 事象関連電位の分析</td> <td style="vertical-align: top;">加算平均，反応潜時，N100，P300</td> </tr> </table>		1. ガイダンス	脳の構造と脳波の発生源，記録上の注意点	2. 電極の装着実習	電極の種類，基準電極，電極の配置	3. 自発脳波の測定	安静時の記録，精神作業時の記録，眠気と脳波の変化	4. 自発脳波の分析	$\alpha$ 波， $\beta$ 波， $\theta$ 波， $\delta$ 波，睡眠脳波，異常脳波	5. 事象関連電位の記録	注意を向けた刺激と無視した刺激 (Oddball 課題)	6. 事象関連電位の分析	加算平均，反応潜時，N100，P300
1. ガイダンス	脳の構造と脳波の発生源，記録上の注意点												
2. 電極の装着実習	電極の種類，基準電極，電極の配置												
3. 自発脳波の測定	安静時の記録，精神作業時の記録，眠気と脳波の変化												
4. 自発脳波の分析	$\alpha$ 波， $\beta$ 波， $\theta$ 波， $\delta$ 波，睡眠脳波，異常脳波												
5. 事象関連電位の記録	注意を向けた刺激と無視した刺激 (Oddball 課題)												
6. 事象関連電位の分析	加算平均，反応潜時，N100，P300												
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>平常点 (記録・実験への参加)，および分析結果のレポート</p>													

【授業科目】 心理学研究法	描画法
【開講期】 2年前期	【担当者】 安齊 順子
<p>【授業目標】  心理検査・投影法の一つである描画法を、実施して解釈することを通して理解する。</p>	
<p>【テキスト】 授業中に指示する</p>	
<p>-----  【参考書】 授業中に指示する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) HTP 実施  (2) HTP 解釈  (3) バウムテスト 実施  (4) バウムテスト 解釈  (5) 風景構成法 実施  (6) 風景構成法 解釈</p> <p>全6回のうち2回をワークルとして、合計3回 描画を実施する。  その後の授業で解釈を学ぶ。ワークル終了ごとに解釈をレポートにまとめる。  解釈では、理論的背景と具体的なケースの解釈をともに学ぶ。</p>	
<p>【評価方法】  3回実施した描画法の解釈レポートをもとに評価を行う。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	(箱庭療法)
【開講期】 2年 前期	【担当者】 岡島 陽子
<p>【授業目標】 箱庭を置く体験とは、一体どのようなものでしょうか。</p> <p>受講生一人一人の箱庭との出会いの体験を何よりも大切にして、その個別性と普遍性を発見的に味わい共有していきたいと思います。</p> <p>そして、箱庭療法という窓を通して見えてくる、イメージの世界に親しみその力に触れることにより、もう一歩深く人間をそして心理療法を見つめ受け止めていくことを目的とします。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>体験 箱庭療法 一箱庭療法の基礎と実際— 三木アヤ他 山王出版</p>	
授 業 計 画	
<p>箱庭を置く体験を通して、自分を見つめ、箱庭療法の基本を学ぶ。</p> <p>授業内容は、以下を柱にして皆で作っていききたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* オリエンテーション</li> <li>* 箱庭を置く体験、見守る体験 (関係性)</li> <li>* 体験をともに話し合う (多様性)</li> <li>* イメージと物語 (遊び)</li> <li>* 箱庭療法の基本について</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>成績は、授業への参加姿勢とレポートにより評価します。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	カウンセリングの実際
【開講期】 2年 前期	【担当者】 川島 眞
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>この授業では、「カウンセリングとはどういうもので、どんなことをするのか」といったカウンセリングの初歩を学びます。具体的には「カウンセリング・マインド」（カウンセリング的に人と接するための基本的態度）を身に付けることが中心です。事例について考えながら、心の専門家としてのカウンセラーに必要な基礎知識や基本的な技法を学ぶことを目標とします。</p>	
<p><b>【テキスト】</b> 特に定めず、必要に応じて授業時にプリントを配布します</p>	
<p><b>【参考書】</b> 平木典子『新版カウンセリングの話』朝日新聞社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業は演習形式で行います。事例についての自分の考えや意見を積極的に言える雰囲気をつくり、活発な授業にしたいと考えています。また、全6回と限られた回数で1回1回知識と練習を積み上げていくので、欠席は大きな遅れになってしまいます。したがって、よほどのことがない限り休まないようにしてください。</p> <p>授業予定は次のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">(授業予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) カウンセリングとはなにか <ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングはどんな役に立つのか</li> <li>カウンセラーとクライアント</li> <li>悩みと心の問題</li> </ul> </li> <li>2) クライアントにとっての「話をする」ことの意味 <ul style="list-style-type: none"> <li>話をすることの効果</li> <li>言葉で伝えることの難しさ</li> <li>人の気持ちを理解する</li> </ul> </li> <li>3) 人を理解するという事 <ul style="list-style-type: none"> <li>「共感」とはどういうことか</li> </ul> </li> <li>4) 「話しを聴く」にも聴き方がある <ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングの技法</li> </ul> </li> <li>5) 事例検討① <ul style="list-style-type: none"> <li>事例について、クライアントの気持ちを共感し、自分がカウンセラーならどうするかを考える</li> </ul> </li> <li>6) 事例検討② <ul style="list-style-type: none"> <li>同上</li> </ul> </li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>レポートを実施。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	
【開講期】 2年 前期	【担当者】 小林 能成
<p><b>【授業目標】</b>  バイオフィードバックとは、通常では認知しがたい生体反応を、装置を用いて認知の容易な情報に変換して、生体にフィードバックする方法である。この方法を用いて生体反応の自己制御を行うのがバイオフィードバック訓練である。  この授業では、バイオフィードバック法の理解、ならびに実際の訓練の実施による訓練技法の修得を目的とする。講義・実習を通して、心と身体の関係についての理解を深めて欲しい。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  必要に応じて資料を配布する。</p>	
<p>-----  <b>【参考書】</b>  「精神生理学入門」 J.Hassett (平井 久 他訳) 東京大学出版会, 1987  「新 生理心理学2巻」 宮田 洋 (監修) 北大路書房, 1997</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>授業では、まず最初にバイオフィードバック法の原理を解説した上で、次に実際の訓練を通じて機器の操作法や測定技法を身につけると共に、自ら訓練を体験することにより、心と身体に関連性についての理解を深めて欲しい。</p> <p>〈授業予定〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バイオフィードバックとは何か① 心と身体反応の関連性 ー簡単な実験を通して (虚偽検出はできるのか) ー</li> <li>2. バイオフィードバックとは何か② バイオフィードバック法の基本的原理の理解</li> <li>3. バイオフィードバック訓練の実施① 機器の操作法・訓練技法の習得・訓練の体験</li> <li>4. バイオフィードバック訓練の実施② 訓練の実施とデータ収集</li> <li>5. データの分析とまとめ データ分析と評価・考察</li> <li>6. バイオフィードバック訓練の臨床応用例の紹介と方法の解説</li> </ol> <p>※ 4, 5に関しては、複数回の訓練計画をたてた実習の場合は、開講時間外で個々の受講者に訓練を実施してもらう形をとることもある。</p>	
<p><b>【評価方法】</b>  授業の出席、実験実習の実施、レポートの提出による。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	調査面接法
【開講期】 前期	【担当者】 菅沼真樹
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>心理学の研究法の中でも、調査を目的とした面接法を取り上げ、その計画、実施、結果の整理などの一連の手続きについて、実習を通して習得していく。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>特に指定しない。</p>	
<p><b>【参考書】</b></p> <p>「心理学マニュアル 面接法」 保坂亨・中澤潤・大野木裕明 北大路書房 ￥1,500</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 講義</p> <p>まず、調査面接法の概要について、臨床面接法と比較しながら解説する。目的、計画、実施上の実際的注意など、面接法についての基礎的な理解を目指す。</p> <p>2. ロールプレイ実習</p> <p>次に、受講者同士によるロールプレイ実習を行う。受講者は面接者役と被面接者役の両方を経験することになる。受講者は全員、自らが面接者役となった面接を録音し、そのテープ起こしを行う。授業ではそれをもとに、参加者全員によって面接過程の検討を行う。</p> <p>被面接者役を経験することにより、面接者に望まれる技術や態度を理解し、面接者役を経験することにより、面接者としての難しさを理解する。話し手として、どのような聞き方をされると話しやすいのか、どのような聞き方をされると話しにくいのか、また聞き手として、自分はどのような癖を持っているのかなど、面接場面をめぐる話し手と聞き手のやりとりについての理解と技術の習得を目指していく。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>授業内での実習発表と、最終レポートによって評価する。</p>	



【授業科目】 心理学研究法	
【開講期】 心2年 前期	【担当者】 斉藤光太郎
<p>【授業目標】</p> <p>脳を見る。</p> <p>脳を壊す。</p> <p>脳をスライスにして顕微鏡で観察・評価する。</p> <p>動物実験の研究法の理解を深める。</p>	
<p>【テキスト】 特になし</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 特になし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 時間目</p> <p>脳を実際に観察しながら、脳研究の概要をつかむ。</p> <p>2 時間目</p> <p>ラットの脳研究についての概要をおさらいするとともに、次週の実験計画を組み立て、理解する。</p> <p>3 時間目</p> <p>ラットの損傷実験を行う。</p> <p>4 時間目</p> <p>損傷実験のおさらいをしながら、研究法についての問題提起を行う。そして、脳研究についての理解を深める。</p> <p>5 時間目</p> <p>損傷実験の結果としての脳スライスを行い、損傷評価する。</p> <p>6 時間目</p> <p>損傷評価と行動データの結果をまとめる。</p>	
<p>【評価方法】 平常点</p>	

【授業科目名】 総合研修	
【開講期】 (2年前期)	【担当者】 金子、金
<p><b>【授業目標】</b>          企業、施設、病院、商店、官公署、自治体等における実際の労働を体験することによって、職業観、労働の意義を学びます。また、実際の職業体験を通じて自分の目標を一層明確にすることができれば、研修の重要な目標を達成したことになるでしょう。</p>	
<p><b>【テキスト・参考書】</b>          実習する分野について、事前に勉強しておくことが望まれます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「総合研修」は所謂インターンシップで、さまざまな研修施設で実際に仕事を体験し、職業人としての素養や職業観を学ぶものです。研修は、心理学に関わる施設、病院だけでなく、さまざまな労働現場で実施されます。研修前には研修の目標を定め、研修期間を通じて研修日誌をつけ、毎日の出来事、さまざまな事態への対応の内容、日々の反省、翌日の目標を明確にします。研修終了後には、研修内容の概要を報告書にまとめます。</p> <p>研修期間：          約10日間（2週間）を基準として実施します。この他、研修の事前指導や、研修計画、日誌、報告書の書き方に関する説明などが適宜行われます。</p> <p>研修内容と募集方法：          受入事業所（企業、施設、病院、商店、官公署、自治体等）によって、研修内容や募集方法が異なります。研修内容をよく吟味して、自分にあった内容かどうかを判断してから参加することが、意義のある研修をするためには重要なことです。</p> <p>この授業科目は前期に開設されていますが、受入事業所によっては、11月頃から募集する場合があります。そのため履修希望者には1年後期に当たる時期に要旨を掲示しますから注意して掲示を見て下さい。</p> <p>また、各自がインターンシップを受入れている事業所を探し、担当教員の許可を受けて研修することも可能です。実習生を受入れている事業所はさまざまなため、必ず担当教員の指示を受けてから申込むようにしなければなりません。</p> <p>一般的に参加希望学生は、参加希望票を授業担当者あるいは受入事業所に出し、研修先での面接を経て決定します。実習生を受入れる事業所は、現場実践教育に賛同し貴重な体験の場を提供しているので、この授業科目を履修して研修に参加するには、その点を十分に心がける必要があります。</p>	
<p><b>【評価方法】</b>          研修日誌、研修報告と研修先の評価を参考にして、授業担当教員が総合評価します。</p>	

【授業科目名】	社会心理学	
【開講期】	2年後期	【担当者】 倉澤寿之
【授業目標】	他者がいることによって受けるさまざまな影響や、他者との間に起こるさまざまな心理学的プロセスを学び、他者と自己とのかかわりについて理解を深めます。	
【テキスト】	特に指定しません。	
【参考書】	初回の授業でいくつか紹介します。	
<b>授 業 計 画</b>		
<p>1. オリエンテーション・社会心理学とは 授業の方針や講義の概要について説明します。</p> <p>2. 他者がいることによる効果・社会的抑制と援助行動 他者がそばにいるというだけで、私たちは非常に多くの影響を受けているのですが、ふだんあまり気づくことはありません。そういった隠れた影響について話します。</p> <p>3. 人にあたる・攻撃性 他者を身体的・精神的に傷つける行為について、様々な側面から考えてみます。</p> <p>4. 他者をどう見るか(1)印象形成 他者から受ける印象がどのように出来上がっているのかを考えます。</p> <p>5. 他者をどう見るか(2)原因帰属 他者の行為を見たとき、私たちはその人がなぜそのようなことをするのかという原因を考えようとします。そのメカニズムについて考えます。</p> <p>6. 自分を見つめる・自己意識 「自分」を意識することは、他の動物にはほとんど見られない、人間だけの特徴です。この自己意識が私たちの行動とどのようにかかわっているのかを見ていきます。</p> <p>7. 自分を知る・自己知覚 「自分のことは自分がいちばんよくわかる」と思っているものですが、果たしてそうでしょうか。私たちが自分のことを知るようになるプロセスを考えてみます。</p> <p>8. 自分を見せる・自己呈示 「自分が他者からどのように見えるか」は誰にとっても気になる場所ですし、実際私たちは意識的にも無意識的にも他者からの見え方をコントロールしようとしています。そのための数々の「技」(?)をご紹介します。</p> <p>9. グループを作る・リーダーシップ 集団で何かをするとき、リーダーの存在は非常に重要です。集団とリーダーシップについて考えます。</p> <p>10. 表情を読む・ノンバーバルコミュニケーション 私たちのコミュニケーションは、言葉によるものが重要ですが、それ以外の部分に支えられている側面も、実は大きいのです。表情や視線などで交わされている情報について考えます。</p> <p>11. 人に近づく、離れる・空間行動 私たちが他者との間に無意識的に維持している距離の意味を考えます。また、動物と同じような「なわばり行動」についても紹介します。</p> <p>12. 非言語的行動と嘘 嘘をついたときに現れる変化や、犯罪捜査との関連などをお話します。</p> <p>※授業回数に余裕があれば、これ以外の話題も取り上げます。 途中、中間テストを2回行い、最後に期末試験の模擬試験を1回行います。</p>		
【評価方法】	<p>マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)</p> <p>規定回数以上出席しなかった場合、期末試験の受験資格を与えません。出席回数については、<u>きわめて機械的に判断しますので、注意してください。</u></p>	

【授業科目】 臨床心理学	
【開講期】 2年 前期	【担当者】 金 愛慶 (きむ えきよん)
<p>【授業目標】</p> <p>「臨床心理学とは何か？」,  「臨床心理士の役割とは？」,  「様々な臨床現場の実際」,  などをキーワードにし、臨床心理学を概観する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>現代の臨床心理学 福屋武人編 学術図書出版社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>近年、不登校や引きこもり、人格障害などといった話題が社会的に注目を浴びる中で、臨床心理学への関心が益々高まっている。</p> <p>臨床心理学は、人格心理学をはじめとした基礎心理学や精神医学などを理論的なベースとする応用心理学の一領域であり、精神的不適応に関する心理学的援助の模索の中で発展してきた比較的新しい学問である。それゆえ、学問的体型は完成されておらず、その基礎知識や治療技法の面でまだまだ解明されていないものが多く、これからも一層発展が望まれる分野でもある。</p> <p>したがって、臨床心理学の授業では、これまで紹介された臨床心理学の基礎知識と治療技法について概観することによって、臨床心理学はどんな学問であるかを多面的に理解する力を養うこととする。</p> <p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 臨床心理学の定義と臨床心理士の役割</li> <li>2) 心理的不適応の諸相：精神障害の診断基準や治療法の概略の紹介</li> <li>3) 各学派における臨床心理学の見解と治療論：精神分析的・現象学的・行動論的立場の理論</li> <li>4) 臨床心理学の様々な治療テクニック</li> <li>5) 様々な臨床現場の実際と活躍：日本の臨床現場を中心に</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験と出席率（重視）</p>	

【授業科目】 精神生理学	
【開講期】 2年 前期	【担当者】 多喜乃 亮介
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>ひとりひとりが経験しながら，はっきりと観察したり測定することがむずかしい心的経験とそれに関連する脳活動および脳活動に由来する身体的変化について学習する．個人的色彩の強い心的経験であっても，脳を媒介として体に現れる様々な活動が私たちの心と密接な関係を持っていることを学び，心が成立する過程で生き物としてすべての人に共通する身体活動の果たす重要性について理解を深める．</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>プリントを配布する</p>	
<p><b>【参考書】</b></p> <p>随時紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的に人を対象とした実験例，および臨床観察例を中心に，心と体の関係について学習する．以下の項目にしたがって講義を進める予定である．</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心と体を結ぶ活動の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>中枢神経系と末梢神経系</li> <li>体性神経系と自律神経系</li> <li>内分泌系</li> </ul> </li> <li>2. 意識を司る脳 <ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠と覚醒</li> <li>断眠，不眠，体内リズム</li> <li>睡眠中の精神活動</li> </ul> </li> <li>3. 感情・情動と脳 <ul style="list-style-type: none"> <li>情動反応，不安，ストレス反応</li> <li>攻撃行動，薬物の影響，神経伝達物質，快中枢，好みの成立</li> <li>表情，感情障害，前頭葉症状</li> </ul> </li> <li>4. 思い出，できごとの記憶と脳 <ul style="list-style-type: none"> <li>知識，技能</li> <li>エピソード記憶</li> <li>健忘</li> </ul> </li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>筆記試験，および授業中の提出物</p>	

【授業科目】 心理検査法	
【開講期】 2年 後期	【担当者】 金 愛慶 (きむ えきよん)
<p>【授業目標】</p> <p>心理検査法の基礎知識をはじめ、 各種心理検査の実施における技術の習得</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>心理検査の理論と実際 花沢成一他 (著) 駿川台出版社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>心理検査とは、知能、人格特性(認知パターン、価値観、行動パターン、適応度)などの測定を試みる中で発達してきた最も代表的な応用分野であり、様々な心理学的知見が集約された分野でもある。</p> <p>心理検査の講義では知能・人格などの心理学的現象における個人差を明らかにしようとする心理検査についてその理論と実際を概観する。なお、幾つかの心理検査を実際に自分で体験してみることによって、心理検査の実施における技術の習得をめざす。</p> <p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心理検査の歴史: 心理検査の目的とその意義</li> <li>2) 心理検査の理論: 信頼性・妥当性の問題, 心理検査実施上の注意点</li> <li>3) 各種心理検査法の紹介: 質問紙法・投影法・作業検査法</li> <li>4) 各種心理検査法の実施とその解釈: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 質問紙法 (MMPI, CMI)</li> <li>● 投影法 (ロールシャッハ法, TAT, H-T-P, SCT)</li> <li>● 作業検査法 (内田クレペリン精神検査)</li> <li>● 発達検査 (MCC ベビーテスト)</li> <li>● 知能検査 (Binet 式知能検査, Wechsler 式知能検査)</li> </ul> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験, レポート, 出席率</p>	

【授業科目】 カウンセリング	
【開講期】 2年前期	【担当者】 林 潔
<b>【授業目標】</b> <p>カウンセリングは基本的には話し合い療法です。          カウンセリングの、基礎的な考え方と取り組み方について紹介します。</p>	
<b>【テキスト】</b> なし	
<b>【参考書】</b> 随時紹介します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>カウンセリングは基本的には話し合い療法です。ただ助言をするということだけではありません。それでは話をするということに、どんな意味があるのでしょうか。</p> <p>まず今日のカウンセリングの基礎である、ロジャースの来談者中心カウンセリングの原理と方法について紹介します。</p> <p>カウンセリング・心理療法は2つのタイプに分けられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人格中心の取り組み</li> <li>2. 問題中心の取り組み</li> </ol> <p>来談者中心カウンセリングは前者の方法です。</p> <p>基本的内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常の相談とカウンセリング。特に助言をめぐる問題。</li> <li>2. 話をすることにどういう意味があるでしょう。</li> <li>3. カウンセリング・心理療法の流れ。略史です。</li> <li>4. VTR カウンセリングの進め方。ここでカウンセリングのイメージをつかみましょう。</li> <li>5. ロジャースの適応、不適応モデル。どういうときに人は悩むのでしょうか。</li> <li>6. ロジャースの人格についての考え方。人格変化の条件。そのもととなる「人格」とは？</li> <li>7. カウンセリングの方法。どういうふうに、問題に働きかけていきますか？</li> <li>8. カウンセリングの事例(1)</li> <li>6. カウンセリングの事例(2)</li> <li>7. カウンセリングの倫理</li> <li>8. ここでロジャースの取り組みを離れて、最近盛んになってきている認知行動療法のあらましを紹介します。          なお認知行動療法は、心理学科の方は一部だぶりますが、後期の心理療法で取り上げます。</li> <li>9. カウンセリングの倫理。プライバシーを扱うカウンセリングには、厳しい倫理が要求されます。その内容の紹介です。</li> </ol> <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。アドレスは次ぎのとおりです。          hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<b>【評価方法】</b> 平常点、指定図書の小レポート、中間試験、期末のレポートで評価します。	

【授業科目名】 応用行動分析	
【開講期】 2年 前期	【担当者】金子 尚弘
<p>【授業目標】 学習心理学で学んだことを基礎として、私たちの身近な生活場面でのさまざまな行動の学習や、問題行動の除去などの方法を学びます。この授業で応用行動分析を学ぶことにより、自分自身の行動を見つめ直したり、他人の行動をより深く理解することができるようになるでしょう。また、学習の遅れや問題行動がある子供や青少年の行動を修正する方法についても学びます。</p>	
<p>【テキスト】 「最後まで読める心理学」金子尚弘、神田信彦、倉澤寿之共著 ブレーン出版</p>	
<p>【参考書】 「はじめての応用行動分析」P. A. アルバート/A. C. トルートマン著 佐久間徹/谷晋二監訳 二瓶社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、行動変容の基礎 オペラント条件づけと応用行動分析の考え方</li> <li>2、新しい行動の獲得 オペラント条件づけの応用分野と応用の方法</li> <li>3、問題行動の除去 問題行動の現れ方と修正、除去の方法</li> <li>4、行動目標の立て方 さまざまなレベルの目標と行動目標</li> <li>5、行動の獲得と環境のコントロール 行動の獲得に必要な環境の人為的な操作方法について</li> <li>6、グループの行動分析 集団を対象とした行動修正の方法について</li> <li>7、ケーススタディの基本 さまざまなケースを考える</li> <li>8、一事例の行動分析実験 ベースラインと介入から、行動修正プログラムの効果を確認することを理解する</li> <li>9、データの記述方法と解釈 行動修正の方法の信頼性の検証することについて</li> <li>10、行動の連鎖 日常の行動が条件付けの連鎖となっていることを理解する</li> <li>11、獲得した行動と般化 獲得した行動があらゆる場所で現れるようにするために必要な知識と問題点について</li> <li>12、発達障害と発達援助 自閉症児など発達に遅れや問題行動がある児童の援助方法</li> <li>13、自分の行動の管理 行動分析の方法を自分の行動の管理に応用する方法について</li> </ol>	
<p>【評価方法】 平常授業期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。</p>	



【授業科目】 心理療法	
【開講期】 心理学科 2 年後期	【担当者】 林 潔
<p>【授業目標】</p> <p>心理療法にはさまざまな方法があります。 この時間ではオーソドックスな行動療法と、認知行動療法の原理と方法について紹介します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>心理療法の中で、その人が訴える問題を中心として人間の問題に関わっていくのが、行動療法です。</p> <p>人は「心の問題」で困っているのではない。「生活の仕方」の問題で困っているのだと考えます。</p> <p>一つ一つの問題にどう取り組んだらよいのか分からない。</p> <p>そういうことで人は悩んでいるのだと理解します。</p> <p>また問題が起こると何が原因かと考えます。しかし、原因も大事ですが何年も前の出来事がなぜ現在まで続いているのと思ったことはありませんか？</p> <p>行動療法では、問題の原因だけではなくて、それを維持する条件は何だろうと考えます。もちろん、それを変えていくために。</p> <p>内容</p> <p>A. 行動療法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行動療法の原理</li> <li>2. 受理面接の役割</li> <li>3. 行動療法の方法       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)強化と消去</li> <li>(2)モデリング</li> <li>(3)不安制止           <ol style="list-style-type: none"> <li>(A)脱感作</li> <li>(B)フラッディング</li> </ol> </li> <li>(4)行動契約</li> </ol> </li> </ol> <p>B. 認知行動療法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行動療法と認知行動療法</li> <li>2. 認知行動療法の原理       <ul style="list-style-type: none"> <li>Beckのモデル</li> <li>Ellisのモデル</li> </ul> </li> <li>3. 認知の歪み</li> <li>4. 認知行動療法の方法</li> </ol> <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。アドレスは次ぎのとおりです。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、中間試験、期末レポートで評価します。</p>	

【授業科目名】 コミュニケーション論	
【開講期】 2年前期(集中)	【担当者】 倉澤寿之
<b>【授業目標】</b> 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。	
<b>【テキスト】</b> 特に指定しません。 <b>【参考書】</b> 授業時に紹介します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>1. 態度変容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 態度と説得的コミュニケーション</li> <li>・ 説得への抵抗とリアクタンス理論</li> </ul> <p>他者から説得を受けたときに働く心理的プロセスについて学びます。</p> <p>2. 承諾誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的勢力</li> <li>・ さまざまな承諾誘導技法</li> </ul> <p>他者から承諾を得るための工夫と、その心理的プロセスについて学びます。</p> <p>3. 悪質商法やカルト教団に見る「マインドコントロール」</p> <p>悪質商法やマインドコントロールには、説得や承諾誘導の技法が数多く応用されています。ここでは、実際に使われる技法を心理学的な側面から捉えなおしてみます。</p>	
<b>【評価方法】</b> マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目】 非行の心理学	
【開講期】 2年前期	【担当者】 神田信彦
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>○授業目標：本講義は受講生の非行への理解を深めるため以下の内容で授業を進める。  非行の動向や、非行の背景にある個人要因及び外的要因について解説し非行への理解の促進を図る。さらに心理学及び社会学の非行理論についてその概要を解説する。またそれらを踏まえて非行の抑止や非行を犯した少年の処遇について検討する。</p> <p>○受講生の目標：本講義の受講生は従業を通じ以下の事を目指すこと。  心理学的視点や社会的視点を背景に非行を理解し説明することができる。またそれらを批判的に検討することができる。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p>	
<p><b>【参考書】</b>  『最後まで読める心理学』（金子・神田・倉澤著；ブレーン出版）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>○取り上げるテーマは以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の非行の動向と特徴</li> <li>2. 非行の原因とメカニズム(1) - 非行への多様な過程</li> <li>3. 非行の原因とメカニズム(2) - 盗み・知能犯 -</li> <li>4. 非行の原因とメカニズム(3) - 暴力非行 -</li> <li>5. 非行の原因とメカニズム(4) - 薬物乱用・性的逸脱 -</li> <li>6. 非行少年の自己意識(1) - 自己概念 -</li> <li>7. 非行少年の自己意識(2) - 時間的展望 -</li> <li>8. 非行少年の対人関係</li> <li>9. 非行の心理学的理論</li> <li>10. 非行の社会的理論</li> <li>11. まとめ</li> </ol>	
<p><b>【評価方法】</b>  授業時間内における小レポート及び定期試験の成績により評価を行う予定。</p>	

【授業科目】	障害児心理学	
【開講期】	2年後期	【担当者】堀江まゆみ
【授業目標】	<p>障害のある子や障害のある人の暮らしを支えるための心理学を学ぶ。特に、ライフサイクル（人生周期）の視点を持ちながら進める。授業では、各ライフステージ（幼児期～老人期）において障害のある本人や家族が現在社会の中で経験するライフイベントを知りながら、その背景にある障害の特徴や心理を理解していく。事例や本人・家族との話し合いなどを通して理解していく。</p>	
【テキスト】	授業の中で指定する	
【参考書】	授業の中で指定する	
授 業 計 画		
<p>授業は以下のように進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ノーマライゼーションと「障害」他、概念の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノーマライゼーション思想とソーシャルアプローチ；地域での暮らしを支える</li> <li>・ 諸概念の見直し—「障害」とはなにか、「発達」とはなにか、「自立」とはなにか</li> <li>・ ライフサイクル、ライフステージ、ライフヒストリーの視点とはなにか</li> </ul> </li> <li>2. 「障害」の特徴とその理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の教育的診断の意味と理解；支援のための障害理解ということ</li> <li>・ 身体障害、知的障害、精神障害の概観</li> <li>・ 発達障害、DSM—IV、ICD-10の診断の意味すること ；広汎性発達障害の理解を中心に—高機能自閉症、アスペルガー症候群の理解</li> </ul> </li> <li>3. ライフステージからみた障害のある子・人と家族の心理とその理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新生児～乳児期 ；障害との出会い—出生前診断をめぐる論議、親の気づきと受容、子育て支援ネット</li> <li>・ 幼児前期～後期 ；仲間とともに—幼稚園・保育所での生活、気になる子と障害特徴、療育と支援</li> <li>・ 学童期 ；共に学ぶ—特別支援教育ということ</li> <li>・ 青年期 ；働く場、暮らす場、余暇を楽しむ</li> <li>・ 成人期 ；性と結婚、子育てをめぐる</li> <li>・ 老年期 ；老いと障害</li> </ul> </li> </ol>		
【評価方法】	授業の中でのレポート	

【授業科目】 健康心理学	
【開講期】 後期	【担当者】 安田朝子
<p>【授業目標】</p> <p>本講座では、健康の獲得、維持、喪失をめぐる、心理学的、行動科学的研究を概観し、日常に応用していく態度を身につけることを目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。授業時にプリント、資料を配布。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に、適宜紹介する予定。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の流れで授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業ガイダンス：健康心理学の基礎理念</li> <li>・ 健康心理学の現状</li> <li>・ 健康心理学の基礎：身体組織の構造と機能</li> <li>・ ストレスの基礎的研究</li> <li>・ 心身関連のメカニズム</li> <li>・ ストレスと健康：タイプ論</li> <li>・ 適応とは何か</li> <li>・ 健康心理学におけるストレスマネジメント</li> <li>・ 健康への認知行動的アプローチ</li> <li>・ ライフスタイルと健康</li> <li>・ 健康教育とヘルスプロモーション</li> <li>・ 健康に関する神経科学的研究</li> <li>・ 試験（教場または定期）</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（30%）と定期試験（70%）をもとに評価。</p>	

【授業科目】社会調査法	
【開講期】前期	【担当者】宇井美代子
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の研究方法のひとつである社会調査法を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いくつかのグループに分かれて、調査を実施する。</p> <p>調査の実施にあたっては、どのような調査をするのかという調査計画の立案、調査計画に基づいた質問紙の作成を、グループごとに行う。調査を実施した後は、SPSS（統計ソフト）を使ってのデータの解析を行い、最後に Power Point（プレゼンテーション用のソフト）を使った発表を行う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・実習への取り組み、レポートによって、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】心理学特講Ⅰ	
【開講期】前期	【担当者】石井 哲夫、山根美江子、 川相 智史、友田 篤
<p>【授業目標】</p> <p>発達障害とはどういう障害か、その障害特性や原因はどのようなものを理解する。 また、発達障害児者の発達支援と生活支援はどうあったらいいのかを、実践現場の豊富な事例を通して学習する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>「自閉症児の心を育てる」 石井 哲夫 明石書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達障害の概念と支援の歴史的な変遷を理解し、その障害特性を踏まえた支援のあるべき姿を考える。</li> <li>2. 発達障害幼児や児童の現状とニーズを踏まえ、望ましい援助者の役割と支援のあり方、さらには支援システムを考える。</li> <li>3. PDD, AD/HD, LDという発達障害の概念と援助技術を整理する。また、わが国独自の『療育』に触れる。</li> <li>4. 自閉症の理解の仕方を例に、仮説から援助方針や援助技術を導く過程を考える。(以上 川相)</li> <li>5. 介護や福祉臨床場面において広く適用されている『受容的交流理論』に付いて学ぶ。</li> <li>6. 『受容的交流理論』による臨床的な発達支援を事例を通して学ぶ。(以上 石井)</li> <li>7. 第二種自閉症児施設の利用者に見られる行動障害と子どもの心理を学ぶ。</li> <li>8. 入所施設の援助の内容——日常生活に現れる課題と心理を理解する。</li> <li>9. 入所施設の援助の内容——療育的援助、ケースワーク、援助関係、指導員の行動原理、援助過程に関して事例を通して理解する。</li> <li>10. 入所施設の援助の内容——家族支援の重要性とその方法を知る。(以上 山根)</li> <li>11. 障害者福祉の新しい理念を理解する。</li> <li>12. 障害者福祉におけるカウンセリングの適用について事例を通して理解する。</li> <li>13. 通所施設における支援の実際を知る。</li> <li>14. 障害者福祉分野の変革とこれからの展望を知る。(以上 友田)</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと授業態度の評価による</p>	

【授業科目】 心理学特講Ⅱ	
【開講期】 2年後期	【担当者】 施 桂栄
<p>【授業目標】</p> <p>文化の多様性を理解した上で、様々な文化における人間の行動様式および心理的特性について考える。本授業では、講義に加えて、関連文献の講読、ビデオの鑑賞およびディスカッションを行うことにより、文化と人間の行動との相互作用について理解を深めていくことを目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用せず（随時資料を配付する）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 文化と心理学</p> <p>(1)文化の定義</p> <p>(2)文化の多様性</p> <p>(3)心理学における文化の影響</p> <p>2. 文化と自己</p> <p>(1)文化と自己概念</p> <p>(2)自立している自己と相互依存的な自己</p> <p>(3)関連した自己概念と孤立した自己概念</p> <p>(4)多文化アイデンティティ</p> <p>3. 偏見</p> <p>(1)偏見の本質</p> <p>(2)社会的カテゴリー化と偏見</p> <p>(3)偏見と集団間関係</p> <p>(4)偏見の変遷と低減</p> <p>4. 異文化コミュニケーション</p> <p>(1)コミュニケーションの構成要素</p> <p>(2)コミュニケーション・プロセスにおける文化の役割</p> <p>(3)同一文化内コミュニケーション対異文化コミュニケーション</p> <p>(4)効果的な異文化間コミュニケーションに向けて</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、討論参加状況およびレポートから総合的に評価する。</p>	



【授業科目】 精神医学	
【開講期】 2年 後期	【担当者】 伊藤 敬雄
<p><b>【授業目標】</b></p> <p>現代社会が抱えている心の問題や精神疾患に関して興味のある学生に対して、難解で取っ付き辛いと考えられる精神医学を症例呈示を通して理解する。精神疾患に特有な症状を知り、基本的な事項や大まかな姿を理解してもらうことを目標とする。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p>	
<p><b>【参考書】</b></p>	
<p><b>授 業 計 画</b></p>	
<p>① 精神医学について 1. 脳科学からみた心のモデル 2. 精神分析からみた心のモデル</p> <p>② 気分障害</p> <p>③ 統合失調症</p> <p>④ 不安障害</p> <p>⑤ 強迫性障害</p> <p>⑥ 外傷後ストレス障害 (PTSD)</p> <p>⑦ 解離性障害</p> <p>⑧ 摂食障害</p> <p>⑨ 境界性人格障害</p> <p>⑩ アルコール性依存症</p> <p>⑪ アルツハイマー型痴呆</p> <p>精神医学の臨床症例を通して、精神疾患の概要を知る。また、精神医学に触れることで、精神不健康状態を通して人間の在り様を考えることを目的とする。</p> <p>科目の内容が難解であることから、要点をまとめながらわかり易く解説を加えたい。</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>I 授業出席状況</p> <p>II 学期末試験</p>	



特別選択科目（2年）



【授業科目】 家庭介護総論	
【開講期】 前期	【担当者】 関谷栄子 他
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術を学ぶ。</li> <li>・ 家庭及び福祉施設における要介護者を対象とした自立支援のための介護の視点及び介護技術を学ぶ。</li> <li>・ 家庭介護技術には高齢者・障害者（児）の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し家族を含めた相談援助について学ぶ。</li> <li>・ この授業ではこれら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が修得できるように講義を進める。</li> <li>・ この授業と「家庭介護演習」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</li> </ul>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉の理念とサービスの進め方</li> <li>2. サービス提供の基本視点</li> <li>3. 老人福祉の制度とサービス</li> <li>4. 障害者（児）福祉の制度とサービス</li> <li>5. ホームヘルプサービス概論</li> <li>6. ホームヘルパーの職業倫理</li> <li>7. 障害・疾病の理解（Ⅰ）、（Ⅱ）</li> <li>8. 高齢者・障害者（児）の心理</li> <li>9. 高齢者・障害者（児）等の家族の理解</li> <li>10. 介護概論</li> <li>11. 相談援助とケア計画の方法</li> <li>12. 医学の基礎知識</li> <li>13. 在宅看護の基礎知識</li> <li>14. 住宅。福祉用具に関する知識</li> <li>15. 共感的理解と基本的態度の形成</li> <li>16. リハビリテーション医療の基礎知識</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート内容及び出席点により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護演習	
【開講期】 前期	【担当者】 森山千賀子、西方規恵 他
<p>【授業目標】</p> <p>介護福祉に関する技術、ヒューマンケアサービス（対人援助技術）に必要な技術、特に家庭及び施設における介護技術を展開する方法を学ぶ。</p> <p>この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【参考書】 授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基本介護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事や入浴などの生活の介護</li> <li>・ 肢体不自由者の移動介助</li> <li>・ 視覚障害者の歩行介助</li> <li>・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備</li> <li>・ 緊急時の対応</li> <li>・ 援助者の健康管理</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、 レポート・その他により評価する。</p>	

【授業科目】 家庭介護実習	
【開講期】 前期	【担当者】 西方規恵 他
<p>【授業目標】  介護福祉技術及び、ヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技能を習得し、介護福祉施設及び在宅介護の現場で実習する。  この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】  授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>施設などにおける実技実習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設介護の現場実習</li> <li>2. 在宅介護現場訪問と業務実習  要介護高齢者や障害者（児）の家庭における在宅介護の同行訪問、見学実習</li> <li>3. 在宅サービス提供現場の見学  デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習</li> </ol>	
<p>【評価方法】  出席点及びレポートにより評価する</p>	







学籍番号・

氏名・

---

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619